

(様式第10)

厚生労働大臣
殿

6新大病総 第 22 号
令和 7 年 10 月 5 日
開設者名 国立大学法人新潟大学長 牛木 辰男

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐二の町8050番地
氏名	国立大学法人新潟大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

新潟大学医歯学総合病院

3 所在の場所

〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通1番町754番地
電話(025)223-6161

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

○	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科					有		
内科と組み合わせた診療科名等							
	1呼吸器内科	○	2消化器内科	○	3循環器内科		4腎臓内科
○	5神経内科	○	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
「1呼吸器内科」及び「9感染症内科」にて提供される医療は「呼吸器・感染症内科」において、「4腎臓内科」及び「11リウマチ科」にて提供される医療は「腎・膠原病内科」において、「7内分泌内科」及び「8代謝内科」にて提供される医療は「内分泌・代謝内科」において提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
「3乳腺外科」及び「7内分泌外科」にて提供される医療は「乳腺・内分泌外科」において提供している。							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科		12放射線科
○	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	心療内科	2	肝胆膵内科	3	腫瘍内科	4	形成・美容外科	5	リハビリテーション科
6	病理診断科	7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
64				763	827

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	374	293	548	看護補助者	13	診療エックス線技師	0
歯科医師	119	99	158.1	理学療法士	15	臨床検査技師	61
薬剤師	66	0	66	作業療法士	4	衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	5	その他	0
助産師	27	0	0	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	829	12	837.8	臨床工学士	20	医療社会事業従事者	12
准看護師	0	0	0	栄養士	0	その他の技術員	5
歯科衛生士	22	0	22	歯科技工士	6	事務職員	212
管理栄養士	7	1	7.3	診療放射線技師	44	その他の職員	68

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	97	眼科専門医	29
外科専門医	46	耳鼻咽喉科専門医	18
精神科専門医	10	放射線科専門医	21
小児科専門医	36	脳神経外科専門医	14
皮膚科専門医	13	整形外科専門医	31
泌尿器科専門医	12	麻酔科専門医	11
産婦人科専門医	24	救急科専門医	14
		合計	352

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (菊地 利明) 任命年月日 令和 7 年 4 月 1 日

令和7年4月1日から、医療安全管理委員会(医療法施行規則に規定された医療安全管理委員会に該当)の委員長であり、新規医療技術等管理センター(医療法等施行規則に規定された高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等の担当部門に該当)の部長である。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	624.1 人	16.6 人	640.7 人
1日当たり平均外来患者数	1,543.4 人	553.7 人	2,097.1 人
1日当たり平均調剤数		3,108	剤
必要医師数		162	人

必要歯科医師数	31	人
必要薬剤師数	40	人
必要(准)看護師数	417	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	718 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	28 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	42 m ²	病床数	3 床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報 管理室	[専用室の場合]	床面積	116 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	403 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 臨床検査情報システム、搬送ライン一式、臨床化学自動分析装置、免疫検査自動分析装置、血糖・HbA1c分析装置、血液ガス分析装置、蛋白泳動装置、多項目自動血球計数装置、全自動血液凝固測定装置、全自動尿分析装置、全自動尿中有形成分分析装置、赤血球沈降速度測定装置、顕微鏡、試薬庫、純水製造装置、遠心機、検体保管庫、安全キャビネット			
細菌検査室	161 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 微生物分類同定分析装置、同定薬剤感受性測定装置、血液培養自動分析装置、抗酸菌培養検査装置、核酸増幅装置、全自動遺伝子解析装置、顕微鏡、試薬庫、遠心機、検体保管庫、培養装置、安全キャビネット			
病理検査室	338 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動染色機, 自動免疫染色機, 蛍光顕微鏡, PCR 装置			
病理解剖室	221 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台, クリオスタット, 超低温フリーザー			
研究室	755 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) パソコン等			
講義室	1,117 m ²	鉄筋コンクリート	室数	11 室	収容定員	695 人
図書室	99 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1 室	蔵書数	7,500 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		88.4	%	逆紹介率		110.5	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数					14,271	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数					20,637	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数					2,241	人
	D: 初診の患者の数					18,670	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
月岡 恵	元 新潟保健所長 新潟県労働衛生医学協 会(新潟ウェルネス所 属)	○	医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
佐藤 信昭	元 新潟県立がんセン ター新潟病院長 新潟県労働衛生医学協 会副会長		医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
三部 正歳	りゅーと法律税務会計 事務所 所長(弁護士、 税理士)		法律に関する識見を有 する者	無	1
堀江 直純	新潟大学理事(総務・財 務・施設 担当)		医療を受ける者その他 医療従事者以外の者	有	2
岡 俊幸	新潟大学監事(業務監 査等担当)		医療を受ける者その他 医療従事者以外の者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数 (人)
細胞診検体を用いた遺伝子検査	0人
内視鏡的憩室隔壁切開術	2人
タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養	30人
子宮内細菌叢検査 1	7人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類合計数	4
取り扱い患者数の合計(人)	39人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
デモゾロミド用量強化療法	0人
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類の合計数	2
取り扱い患者数の合計(人)	0人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	
取扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	8	56	原発性免疫不全症候群	8
2	筋萎縮性側索硬化症	24	57	IgA 腎症	49
3	脊髄性筋萎縮症	7	58	多発性嚢胞腎	52
4	原発性側索硬化症	1	59	黄色靱帯骨化症	2
5	進行性核上性麻痺	13	60	後縦靱帯骨化症	46
6	パーキンソン病	67	61	広範脊柱管狭窄症	7
7	大脳皮質基底核変性症	4	62	特発性大腿骨頭壊死症	78
8	ハンチントン病	1	63	下垂体性ADH分泌異常症	18
9	神経有棘赤血球症	1	64	下垂体性TSH分泌亢進症	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	4	65	下垂体性PRL分泌亢進症	17
11	重症筋無力症	149	66	クッシング病	10
12	多発性硬化症／視神経脊髄炎	149	67	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	38
13	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	23	68	下垂体前葉機能低下症	135
14	封入体筋炎	2	69	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
15	クロー・深瀬症候群	4	70	先天性副腎皮質酵素欠損症	18
16	多系統萎縮症	10	71	サルコイドーシス	114
17	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	46	72	特発性間質性肺炎	31
18	ライソゾーム病	17	73	肺動脈性肺高血圧症	37
19	副腎白質ジストロフィー	4	74	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
20	ミトコンドリア病	11	75	慢性血栓性肺高血圧症	12
21	もやもや病	77	76	リンパ管筋腫症	9
22	プリオン病	1	77	網膜色素変性症	13
23	HTLV-1関連脊髄症	2	78	バッド・キアリ症候群	4
24	全身性アミロイドーシス	48	79	特発性門脈圧亢進症	3
25	遠位型ミオパチー	1	80	原発性胆汁性胆管炎	37
26	神経線維腫症	53	81	旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	
27	天疱瘡	35	82	原発性硬化性胆管炎	1
28	表皮水疱症	1	83	自己免疫性肝炎	25
29	膿疱性乾癬(汎発型)	20	84	クローン病	174
30	スティーヴンス・ジョンソン症候群	4	85	潰瘍性大腸炎	283
31	中毒性表皮壊死症	1	86	好酸球性消化管疾患	2
32	高安動脈炎	27	87	慢性特発性偽性腸閉塞症	3
33	巨細胞性動脈炎	12	88	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	1
34	結節性多発動脈炎	7	89	クリオピリン関連周期熱症候群	1
35	顕微鏡的多発血管炎	49	90	若年性特発性関節炎	6
36	多発血管炎性肉芽腫症	41	91	旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	
37	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	30	92	先天性ミオパチー	3
38	悪性関節リウマチ	8	93	筋ジストロフィー	6
39	バージャー病	2	94	脊髄空洞症	1
40	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	95	脊髄髄膜瘤	2
41	全身性エリテマトーデス	359	96	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	2
42	皮膚筋炎／多発性筋炎	134	97	皮膚下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	3
43	全身性強皮症	123	98	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	1
44	混合性結合組織病	40	99	限局性皮質異形成	1
45	シェーグレン症候群	19	100	レノックス・ガストー症候群	1
46	成人スチル病	16	101	ウエスト症候群	2
47	再発性多発軟骨炎	7	102	ラスムッセン脳炎	1
48	ベーチェット病	74	103	結節性硬化症	8
49	特発性拡張型心筋症	105	104	先天性魚鱗癬	2
50	肥大型心筋症	29	105	家族性良性慢性天疱瘡	1
51	拘束型心筋症	2	106	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	31
52	再生不良性貧血	38	107	特発性後天性全身性無汗症	7
53	自己免疫性溶血性貧血	7	108	弾性線維性仮性黄色腫	1
54	発作性夜間ヘモグロビン尿症	5	109	マルファン症候群	8
55	特発性血小板減少性紫斑病	32	110	ウィルソン病	5
				低ホスファターゼ症	1
				ウィーバー症候群	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
111	無脾症候群	1	161	無虹彩症	4
112	ウェルナー症候群	1	162	特発性多中心性キャッスルマン病	2
113	プラダー・ウィリ症候群	2			
114	22q11.2欠失症候群	1			
115	修正大血管転位症	1			
116	完全大血管転位症	1			
117	三尖弁閉鎖症	4			
118	ファロー四徴症	4			
119	両大血管右室起始症	4			
120	アルポート症候群	2			
121	抗糸球体基底膜腎炎	2			
122	一次性ネフローゼ症候群	46			
123	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	6			
124	紫斑病性腎炎	6			
125	オスラー病	6			
126	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2			
127	副甲状腺機能低下症	4			
128	偽性副甲状腺機能低下症	3			
129	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	5			
130	フェニルケトン尿症	4			
131	尿素サイクル異常症	2			
132	原発性高カイロミクロン血症	1			
133	脳腫黄色腫症	1			
134	家族性地中海熱	2			
135	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1			
136	慢性再発性多発性骨髄炎	1			
137	強直性脊椎炎	48			
138	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1			
139	骨形成不全症	1			
140					
141	軟骨無形成症	1			
142	リンパ管腫症/ゴーム病	1			
143	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	1			
144	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	2			
145	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	3			
146	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	9			
147	後天性赤芽球癆	1			
148	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1			
149	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1			
150	クローンカイト・カナダ症候群	1			
151	総排泄腔外反症	1			
152	総排泄腔遺残	2			
153	胆道閉鎖症	8			
154	IgG4関連疾患	19			
155	黄斑ジストロフィー	3			
156	好酸球性副鼻腔炎	118			
157	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	1			
158	カルニチン回路異常症	1			
159	シトリン欠損症	1			
160	前眼部形成異常	1			

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	162
合計患者数(人)	3,628

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医療DX推進体制整備加算	・報告書管理体制加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科外来診療医療安全対策加算2	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科外来診療感染対策加算4	・ハイリスク分娩等管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・後発医薬品使用体制加算1
・特定機能病院入院基本料	・バイオ後続品使用体制加算
・救急医療管理加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・超急性期脳卒中加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・診療録管理体制加算1	・データ提出加算
・医師事務作業補助体制加算1	・入退院支援加算
・急性期看護補助体制加算	・精神科入退院支援加算
・看護職員夜間配置加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・看護補助加算	・精神疾患診療体制加算
・療養環境加算	・精神科急性期医師配置加算
・重症者等療養環境特別加算	・地域医療体制確保加算
・無菌治療室管理加算1	・地域歯科診療支援病院入院加算
・無菌治療室管理加算2	・救命救急入院料3
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・特定集中治療室管理料2
・緩和ケア診療加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・精神科身体合併症管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・精神科リエゾンチーム加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・摂食障害入院医療管理加算	・小児入院医療管理料2
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・連携充実加算
・外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	・ニコチン依存症管理料
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)
・糖尿病合併症管理料	・がん治療連携計画策定料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・がん患者指導管理料イ	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・がん患者指導管理料ロ	・肝炎インターフェロン治療計画料
・がん患者指導管理料ハ	・こころの連携指導料(Ⅰ)
・がん患者指導管理料ニ	・こころの連携指導料(Ⅱ)
・外来緩和ケア管理料	・薬剤管理指導料
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・医療機器安全管理料1
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・医療機器安全管理料2
・糖尿病透析予防指導管理料	・歯科治療時医療管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・在宅患者歯科治療時医療管理料
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・婦人科特定疾患治療管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・腎代替療法指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・一般不妊治療管理料	・遺伝学的検査の注1に規定する施設基準
・生殖補助医療管理料1	・染色体検査の注2に規定する基準
・二次性骨折予防継続管理料1	・骨髄微小残存病変量測定
・二次性骨折予防継続管理料3	・BRCA1/2遺伝子検査
・下肢創傷処置管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・慢性腎臓病透析予防指導管理料	・先天性代謝異常症検査
・外来放射線照射診療料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・外来腫瘍化学療法診療料1	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)	・有床義歯咀嚼機能検査2のイ
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	・有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・精密触覚機能検査
・国際標準検査管理加算	・睡眠時歯科筋電図検査
・遺伝カウンセリング加算	・画像診断管理加算1
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・画像診断管理加算4
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・歯科画像診断管理加算1
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・歯科画像診断管理加算2
・胎児心エコー法	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)
・ヘッドアップティルト試験	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
・皮下連続式グルコース測定	・CT撮影及びMRI撮影
・長期継続頭蓋内脳波検査	・冠動脈CT撮影加算
・単線維筋電図	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・神経学的検査	・外傷全身CT加算
・補聴器適合検査	・心臓MRI撮影加算
・黄斑局所網膜電図	・乳房MRI撮影加算
・全視野精密網膜電図	・小児鎮静下MRI撮影加算
・ロービジョン検査判断料	・頭部MRI撮影加算
・コンタクトレンズ検査料1	・全身MRI撮影加算
・内服・点滴誘発試験	・肝エラストグラフィ加算
・センチネルリンパ節生検(片側)	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・経頸静脈的肝生検	・外来化学療法加算1
・経気管支凍結生検法	・無菌製剤処理料
・口腔細菌定量検査	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・有床義歯咀嚼機能検査1のイ	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・皮膚移植術(死体)
・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2	・自家脂肪注入
・がん患者リハビリテーション料	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・リンパ浮腫複合的治療料	・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
・歯科口腔リハビリテーション料2	・骨悪性腫瘍、類骨・骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・経頭蓋磁気刺激療法	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・認知療法・認知行動療法1	・後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・椎間板内酵素注入療法
・医療保護入院等診療料	・腫瘍脊椎骨全摘術
・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	・緊急穿頭血腫除去術
・多血小板血漿処置	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・硬膜外自家血注入	・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算
・人工腎臓	・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
・導入期加算3及び腎代替療法実績加算	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
・ストーマ合併症加算	・角結膜悪性腫瘍切除手術
・手術用顕微鏡加算	・角膜移植術(内皮移植加算)
・口腔粘膜処置	・羊膜移植術
・う蝕歯無痛の窩洞形成加算	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))
・光学印象	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・歯科技工加算1及び2	・網膜再建術
・皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	・経外耳道の内視鏡下鼓室形成術

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・人工中耳植込術	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・耳管用補綴材挿入術	・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る。)	・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的僧帽弁クリップ術
・内喉頭筋肉注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・経皮的中心心筋焼灼術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科)	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・補助人工心臓

・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・骨格筋由来細胞シート心表面移植術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的下肢動脈形成術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・内視鏡下筋層切開術	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・尿道狭窄グラフト再建術
・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・精巣温存手術
・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・精巣内精子採取術
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・腹腔鏡下肝切除術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・生体部分肝移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・同種死体肝移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胎児輸血術及び臍帯穿刺
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術及び腹腔鏡下膵中央切除術	・体外式模型人工肺管理料
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・内視鏡的小腸ポリープ切除術	・輸血管理料 I

・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・輸血適正使用加算
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・コーディネート体制充実加算
・同種死体腎移植術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・生体腎移植術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	・歯周組織再生誘導手術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・手術時歯根面レーザー応用加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯根端切除手術の注3	・
・レーザー機器加算	・
・麻酔管理料(Ⅰ)	・
・麻酔管理料(Ⅱ)	・
・歯科麻酔管理料	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・一回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療加算 (IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・画像誘導密封小線源治療加算	・
・病理診断管理加算2	・
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・
・口腔病理診断管理加算2	・

・クラウン・ブリッジ維持管理料	・
・歯科矯正診断料	・
・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	・
・看護職員処遇改善評価料	・
・外来・在宅ベースアップ評価料(I)	・
・歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)	・
・入院ベースアップ評価料	・
・	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施 設 基 準 等 の 種 類	施 設 基 準 等 の 種 類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	17	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	13
	剖検率(%)	3.11%

)1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こ
(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
エイズ患者・HIV感染者の歯科医療体制整備に向けた調査研究	富原 圭	顎顔面口腔外科	2,400,000	補 委	新潟県
カロテノイドの細胞評価	柿原 嘉人	顎顔面再建学	949,000	補 委	新潟県農業総合研究所食品研究センター
(AMED)国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究	茂呂 寛	感染管理部	585,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
エイズ治療拠点病院治療促進事業における調査研究事業	茂呂 寛	感染管理部	200,000	補 委	新潟県
関東・甲信越地方ブロックエイズ対策促進事業における調査研究事業	茂呂 寛	感染管理部	25,540,000	補 委	新潟県
「HIV感染者等の長期療養体制構築に向けた調査研究」	茂呂 寛	感染管理部	35,766,000	補 委	新潟県
水俣病、緑内障患者のquality of vision(QOV)スコアの経時変化	福地 健郎	眼科	3,000,000	補 委	新潟県
(J-DREAMS)電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究	曽根 博仁	血液・内分泌・代謝内科	300,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
(AMED)母乳における妊娠中・胎児期を起点としたリンケージデータベース構築とそれを活用した精密医療実現のためのエビデンス創出	曽根 博仁	血液・内分泌・代謝内科	64,713,069	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)糖尿病腎症の重症化予防を目指したスマートフォンアプリの早期腎症寛解効果に関するパイロット研究	曽根 博仁	血液・内分泌・代謝内科	6,464,278	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
健康寿命延伸に向けた調査研究	曽根 博仁	血液・内分泌・代謝内科	9,550,000	補 委	新潟県
(JST)AMPA受容体シナプス外膜プールに基づく認知予備機能の理解	内ヶ島 基政	細胞病態学分野	1,300,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
(JST)3次元分子病理学による子宮内膜関連疾患の病態解明	吉原 弘祐	産科婦人科	7,800,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	吉原 弘祐	産科婦人科	972,000	補 委	新潟県
(AMED)子宮内膜ゲノム情報に基づいた子宮内膜症の病態解明と発症予測モデルの開発	吉原 弘祐	産科婦人科	15,600,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)卵巣がんに対するゲノム医療の実装と新規治療戦略構築のための全ゲノムおよびオミックス解析研究	吉原 弘祐	産科婦人科	650,000	補 委	公益財団法人がん研究会
①基礎研究:聴覚伝導路を用いた感覚代行システムの開発と平衡リハビリレーニングプログラムの構築 ②臨床研究:慢性めまい患者の立位時間戦略の解明	堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	3,000,000	補 委	新潟県

(AMED) 肝硬変症に対するリハビリテーション医療の確立、筋肉再生―肝臓修復機構の解析を通じた新たなバイオマーカーの探索	寺井 崇二	消化器内科	23,400,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED) 経口感染によるウイルス性肝炎(A型及びE型)の感染防止、病態解明、治療に関する研究	神田 達郎	消化器内科	29,400,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED) 再生医療の普及を支援する再生医療ナショナルコンソーシアムの充実	寺井 崇二	消化器内科	3,835,000	補 委	一般社団法人日本再生医療学会
(AMED) TDP-43陰性単一核のメチローム、トランスクリプトーム解析による、孤発性ALS/FTD早期病態の解明	三橋(小池) 佑佳	脳神経内科	13,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(JST) 加齢依存性脱メチル化によるDNA損傷を介した神経変性解読	三橋(小池) 佑佳	脳神経内科	9,100,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
神経細胞の再生促進の解析	金澤 雅人	脳神経内科	3,000,000	補 委	新潟県
(AMED) 認知症患者コホートを活用したゲノム統合解析による認知症層別化と脳内病態メカニズムの解明	池内 健	脳神経内科	78,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED) HTRA1関連脳小血管病における血管反応性異常の非侵襲的検出方法の開発	小野寺 理	脳神経内科	19,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED) TDP-43のエキシトロンに注目した、その発現・凝集制御による、筋萎縮性側索硬化症の治療法開発	須貝 章弘	脳神経内科	6,500,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED) ヘパラン硫酸プロテオグリカンを標的とした、遺伝性脳小血管病の包括的治療方法の開発	小野寺 理	脳神経内科	13,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED) 未診断疾患イニシアチブ(Initiative on Rare and Undiagnosed Disease (IRUD)): 希少・未診断疾患に対する診断プログラム基盤の開発と患者還元を推進	池内 健	脳神経内科	7,800,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
(AMED) DCTスキームを用いた認知症研究体制構築の研究	池内 健	脳神経内科	3,900,000	補 委	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
認知症患者修飾薬の臨床実用に関するレジストリ支援研究	池内 健	脳神経内科	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Seki Y	血液・内分泌・代謝内科	Clinical guidelines for prevention and treatment of CAT in Japan and other countries.	Int J Hematol. 2024 May;119(5):505-515.	Original Article
2	Seki Y, Okamoto K, Ikezoe T, et al	血液・内分泌・代謝内科	Clinical practice guidelines for management of disseminated intravascular coagulation in Japan 2024. Part 3: solid cancers and vascular abnormalities.	Int J Hematol. 2025 May;121(5):622-632.	Original Article
3	Seki Y, Ogawa Y, Kikuchi T, et al	血液・内分泌・代謝内科	Efficacy and safety of recombinant porcine factor VIII in Japanese patients with acquired hemophilia A.	Int J Hematol. 2024 Oct;120(4):482-491.	Original Article
4	Suzuki K, Sameshima Y, Yokoyama J, et al	消化器内科	Add-on multiple submucosal injections of the RNA oligonucleotide GUT-1 to anti-TNF antibody treatment in patients with moderate-to-severe ulcerative colitis: an open-label, proof-of concept study.	Inflamm Regen. 2024 Apr 25;44(1):22. (オンライン)	Original Article
5	Baba S, Miyazaki A, Watanabe T, et al	小児科	Cardiac resynchronization therapy by pacing the right ventricular dorsal site of inflow and anterior outflow for congenitally corrected transposition of the great arteries: a case report.	Eur Heart J Case Rep. 2024 Nov 14;8(12):ytac607. (オンライン)	Case Report

6	Tanaka M, Kobayashi A, Kuwabara H, et al	小児科	Preterm Infant with Generalized Arterial Calcification of Infancy Who Survived Due to Early Diagnosis and Appropriate Treatment with Bisphosphonates: A Case Report.	Children (Basel). 2024 Sep 27;11(10):1176. (オンライン)	Case Report
7	Maeda K, Mochizuki T, Tanifuji O, et al	整形外科	Medial cortical bone thickness of the tibial diaphysis in osteoarthritis is related to lower extremity alignment and tibial morphology.	J Orthop Surg Res. 2024 Jun 15;19(1):355. (オンライン)	Original Article
8	Suzuki N, Yoda T, Nakadai M, et al	整形外科	Short-term clinical outcomes of mirogabalin for carpal tunnel syndrome: A single-center retrospective pilot study.	J Orthop. 2024 Nov 24;64:102-107. (オンライン)	Original Article
9	Shibuya Y, Katsumi K, Watanabe K, et al	整形外科	Three-dimensional morphological changes in ossification of the posterior longitudinal ligament of the thoracic spine following posterior decompression and fusion surgery.	J Clin Neurosci. 2024 Sep;127:110764.	Original Article
10	Watanabe J, Clutter MR, Gullette MJ, et al	脳神経外科	BET bromodomain inhibition potentiates radiosensitivity in models of H3K27-altered diffuse midline glioma.	J Clin Invest. 2024 May 21;134(13):e174794. (オンライン)	Original Article
11	Sugai S, Sasabuchi Y, Yasunaga H, et al	産科婦人科	In-hospital outcomes of repair and hysterectomy for uterine rupture: A nationwide observational study.	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol. 2024 Nov;302:196-200.	Original Article

12	Sugai S, Haino K, Hayashi M, et al	産科婦人科	Fetal Hydrops Associated With 47,XXX: A Case Report and Literature Review.	Cureus. 2024 Jun 17;16(6):e62552. (オンライ ン)	Case Report
13	Yamamoto H, Yamawaki K, Haino K, et al	産科婦人科	Influence of Warning Bleeding on Blood Loss in Low-Lying Placenta.	Cureus. 2024 Nov 30;16(11):e74858. (オンラ イン)	Original Article
14	Sugai S, Sasabuchi Y, Yasunaga H, et al	産科婦人科	Clinical characteristics and outcomes of preterm versus term uterine rupture: a nationwide observational study.	Arch Gynecol Obstet. 2024 Dec;310(6):3131– 3138.	Original Article
15	Sugai S, Haino K, Yamawaki K, et al	産科婦人科	Pregnancy Following Spontaneous Healing of Uterine Rupture: A Case Report and Experience of Management.	Cureus. 2024 Sep 27;16(9):e70322. (オンライ ン)	Case Report
16	Sugai S, Haino K, Yoshihara K, et al	産科婦人科	Unique Findings in Placenta Accreta Following Adenomyomectomy.	J Obstet Gynaecol Can. 2025 Feb;47(2):102750.	Original Article
17	Sugai S, Sasabuchi Y, Yasunaga H, et al	産科婦人科	Comparison of open and laparoscopic appendectomy according to the trimester of pregnancy: A nationwide observational study.	World J Surg. 2025 Jan;49(1):74–81.	Original Article
18	Sugai S, Sasabuchi Y, Yasunaga H, et al	産科婦人科	Impact of gestational age on the management of acute appendicitis during pregnancy: A nationwide observational study.	Int J Gynaecol Obstet. 2025 Mar;168(3):1047– 1054.	Original Article

19	Sugai S, Mori Y, Yamawaki K, et al	産科婦人科	Temporal trends and regional variations in operative vaginal deliveries in Japan: A national representative cohort study.	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Sep;50(9):1494–1500.	Original Article
20	Nakano H, Shiinoki T, Tanabe S, et al	放射線治療科	Assessing tumor volumetric reduction with consideration for setup errors based on mathematical tumor model and microdosimetric kinetic model in single-isocenter VMAT for brain metastases.	Phys Eng Sci Med. 2024 Dec;47(4):1385–1396.	Original Article
21	Kawaguchi G, Ishida K, Nishiyama H, et al	放射線治療科	Rectal toxicity of 3-dimensional conformal radiation therapy following hydrogel spacer (Space OAR) injection for men with prostate cancer.	SAGE Open Med. 2024 Sep 29;12:20503121241287086. (オンライン)	Original Article
22	Kurita S, Furutani K, Mitsuma Y, et al	麻酔科	Effect of Remimazolam on Transcranial Electrical Motor-evoked Potential in Spine Surgery: A Prospective, Preliminary, Dose-escalation Study.	J Neurosurg Anesthesiol. 2024 Jul 22.	Original Article
23	Abe T, Seino Y, Imai H	麻酔科	Mask Ventilation Failure During Induction of General Anesthesia in an Infant With Osteogenesis Imperfecta Type II.	Cureus. 2024 Aug 28;16(8):e68059. (オンライン)	Case Report
24	Mashima A, Furutani K, Baba H	麻酔科	Anesthetic management using desflurane and nitrous oxide in a child with non-ketotic hyperglycinemia: a case report.	JA Clin Rep. 2024 Dec 27;10(1):79. (オンライン)	Original Article

25	Hibino A, Hibino A, Nishimaki H, et al	麻酔科	Asymptomatic Subglottic Stenosis Discovered During Anesthesia Induction and Not Predicted by Preoperative Evaluation: A Case Report.	Cureus. 2024 May 2;16(5):e59543. (オンライン)	Case Report
26	Kawai Y, Nishiyama K	救急科	Point-of-care ultrasound for Lemierre's syndrome during the COVID- 19 pandemic: A case report.	J Gen Fam Med. 2024 Jun 14;25(5):274-276. (オンライン)	Original Article
27	Honda H, Deuchi K, Fukasawa M, et al	救急科	Diagnostic accuracy of the anion gap to identify toxic lithium concentrations: a single-center retrospective observational study.	Clin Toxicol (Phila). 2024 Aug;62(8):506-511.	Original Article
28	Mizuno KI, Yokoyama J, Shibata O, et al	光学医療診療部	Safety of edoxaban for delayed bleeding in gastrointestinal endoscopic procedures with a high risk of bleeding.	DEN Open. 2024 Oct 3;5(1):e70018. (オンライン)	Original Article
29	Ushiki T, Mochizuki T, Osawa M, et al	輸血・再生・細胞治療センター	Plasma Gel Matrix as a Promising Carrier of Epigallocatechin Gallate for Regenerative Medicine.	J Funct Biomater. 2024 Apr 10;15(4):98. (オンライン)	Original Article
30	Arai Y, Takashima M, Matsuzaki N, et al	顎口腔インプラント治療部	Marginal bone loss in dental implants: A literature review of risk factors and treatment strategies for prevention.	J Prosthodont Res. 2025 Jan 10;69(1):12-20.	Original Article
31	Akter T, Takashima M, Arai Y, et al	顎口腔インプラント治療部	Gonial angle and late implant loss: A retrospective clinical study.	J Prosthodont Res. 2025 Jan 10;69(1):120-126.	Original Article

32	Takada T	魚沼地域医療教育センター	Progress in progressive pulmonary fibrosis: biomarkers of systemic sclerosis-associated interstitial lung disease.	Rheumatology (Oxford). 2024 Nov 1;63(11):2907-2908.	Original Article
33	Takada T, Aoki A, Shima K, et al	魚沼地域医療教育センター	Advancements in the treatment of interstitial lung disease in systemic sclerosis with the approval of mycophenolate mofetil.	Respir Investig. 2024 Nov;62(6):1242-1246.	Original Article
34	Akasaka K, Amano M, Nakamura T, et al	魚沼地域医療教育センター	Cytokine profiles associated with disease severity and prognosis of autoimmune pulmonary alveolar proteinosis.	Respir Investig. 2024 Jul;62(4):610-616.	Original Article
35	Tanaka Y, Tanaka M, Miyazawa H, et al	臨床研究推進センター	Postmarket safety communications on drugs approved in Japan: A 25-year analysis.	Clin Transl Sci. 2024 Apr;17(4):e13803.	Original Article
36	Miyazawa M, Tanaka M, Tanaka Y, et al	臨床研究推進センター	Concordance Between Pharmaceuticals and Medical Devices Agency Review and Ministry of Health, Labour and Welfare Decision Among New Drug Applications in Japan.	Clin Pharmacol Ther. 2025 Feb;117(2):544-553.	Original Article
37	Honma M, Suzuki N, Goto M, et al	薬剤部	A case series study on the safety of cefditoren pivoxil use during the first trimester of pregnancy in Japan.	Congenit Anom (Kyoto). 2025 Jan-Dec;65(1):e12588.	Original Article

38	Sakai Y, Katsura K, Kotake M, et al	薬剤部	A Cross-Sectional Survey of Oral Adverse Events and Oral Management Needs in Outpatients Receiving Cancer Drug Therapy.	Cancers (Basel). 2025 Feb 14;17(4):641. (オンライン)	Original Article
39	Watanabe T, Noto S, Natsumeda M, et al	医療技術部	Improvements in activities of daily living among patients with brain tumors are associated with age, baseline physical function, duration of rehabilitation, and tumor recurrence but not type.	Int J Rehabil Res. 2024 Dec 1;47(4):231-237.	Original Article
40	Matsuo S, Ozaki K, Kashimura T, et al	循環器内科	Left main compression syndrome caused by pulmonary hypertension due to peripheral pulmonary artery stenosis complicated with moyamoya disease.	J Cardiol Cases. 2025 Jan 3;31(2):29-34. (オンライン)	Case Report
41	Ikegami R, Piao Z, Iglesias JF, et al	循環器内科	Ultrathin-strut versus thin-strut stent healing and outcomes in preclinical and clinical subjects.	EuroIntervention. 2024 May 20;20(10):e669-e680. (オンライン)	Original Article
42	Sato T, Dai Z, Hashimoto J, et al	循環器内科	Cardiology involvement and mortality in adult patients with advanced solid cancer complicated by atrial fibrillation.	PLoS One. 2025 Feb 25;20(2):e0319342. (オンライン)	Original Article
43	Ikami Y, Izumi D, Fujiki S, et al	循環器内科	Differences in coagulation responses to vascular injury between uninterrupted dabigatran and apixaban: A clinical prospective randomized study.	Heart Rhythm. 2025 Jan;22(1):21-28.	Original Article

44	Yoneyama S, Hoyano M, Ozaki K, et al	循環器内科	Pd/Pa fluctuation with continuous ATP administration indicates inaccurate FFR measurement caused by insufficient hyperemia.	Heart Vessels. 2025 Jan;40(1):8-15.	Original Article
45	Kashimura T, Tsuchiya H, Sawaguchi G, et al	循環器内科	The effects of bolus isosorbide dinitrate on pulmonary hypertension with cardiopulmonary comorbidities.	Heart Vessels. 2025 Feb;40(2):172-180.	Original Article
46	Okubo T, Mahara K, Ozaki K, et al	循環器内科	Usefulness of intraoperative color three-dimensional transesophageal echocardiography for detecting treatable residual mitral regurgitation immediately after mitral valve repair.	J Cardiol. 2025 May;85(5):399-403.	Original Article
47	Saitoh O, Kasai T, Oikawa A, et al	循環器内科	Submyocardial Pacing Threshold Distribution During Cold Saline Application; Exploring Reversible Arrhythmia Inhibition.	Pacing Clin Electrophysiol. 2024 Dec;47(12):1698-1707.	Original Article
48	Inomata T, Fukuda T, Yamashita N, et al	循環器内科	Cost-Effectiveness Analysis of Adding Ivabradine to Current Standard Therapy Versus Standard Therapy Alone in Patients with Chronic Heart Failure in Japan.	Int Heart J. 2024;65(6):1040-1048.	Original Article
49	Fujiki S, Yamashita Y, Morimoto T, et al	循環器内科	Impact of Anemia on Clinical Outcomes of Patients With Cancer-Associated Isolated Distal Deep Vein Thrombosis Receiving Edoxabana- Insights From the ONCO DVT Study.	Circ J. 2024 Sep 19.	Original Article

50	Sakai R, Kashimura T, Inomata T	循環器内科	Pulsus alternans under left ventricular assist device in a patient with dilated cardiomyopathy and LMNA mutation.	Eur Heart J. 2024 Sep 14;45(35):3296.	Case Report
51	Fujiki S, Iijima K, Nakagawa Y, et al	循環器内科	Effect of empagliflozin on ventricular arrhythmias in patients with type 2 diabetes treated with an implantable cardioverter-defibrillator: the EMPA-ICD trial.	Cardiovasc Diabetol. 2024 Jun 28;23(1):224. (オンライン)	Original Article
52	Obata H, Izumi T, Ishizuka M, et al	循環器内科	Impact and management of integrated dysphagia rehabilitation within cardiac care programs for older patients with cardiovascular disease.	Eur Geriatr Med. 2024 Dec;15(6):1657-1668.	Original Article
53	Watanabe M, Fujiki S, Okura Y, et al	循環器内科	Increasing survivors of anthracycline-related cardiomyopathy with breast cancer in trastuzumab era: thirty-one-year trends in a Japanese Community.	Breast Cancer. 2024 Nov;31(6):1080-1091.	Original Article
54	Akiyama T, Ikegami R, Kubota N, et al	循環器内科	Serum Apolipoprotein-A2 Levels Are a Strong Predictor of Future Cardiovascular Events in Patients Undergoing Percutaneous Coronary Intervention.	Circ J. 2024 Oct 25;88(11):1770-1777.	Original Article
55	Hasegawa Y, Sugiura H, Sanada A, et al	循環器内科	Association between early repolarization and vagally mediated atrial fibrillation.	Heart Rhythm. 2024 Nov;21(11):2353-2354.	Original Article

56	Katsuumi G, Shimizu I, Suda M, et al	循環器内科	SGLT2 inhibition eliminates senescent cells and alleviates pathological aging.	Nat Aging. 2024 Jul;4(7):926–938.	Original Article
57	Kasai T, Saitoh O, Oikawa A, et al	循環器内科	Lesion characteristics of long application time ablation using unipolar half-normal saline irrigation and bipolar normal saline irrigation.	Indian Pacing Electrophysiol J. 2025 Jan–Feb;25(1):2–11.	Original Article
58	Shimayama C, Fujihara K, Khin L, et al	血液・内分泌・代謝内科	Impact of diabetes remission or progression on the incidence of cardiovascular disease in Japan: historical cohort study using a nationwide claims database.	Cardiovasc Diabetol. 2025 Jan 22;24(1):37. (オンライン)	Original Article
59	Fujihara K, Matsubayashi Y, Kitazawa M, et al	血液・内分泌・代謝内科	Achieving normoglycaemia with tirzepatide: Post hoc exploratory analysis of the SURPASS J-mono and J-combo studies.	Diabetes Obes Metab. 2024 Nov;26(11):5304–5311.	Original Article
60	Yachida J, Fujihara K, Harada Yamada M, et al	血液・内分泌・代謝内科	Coronary artery disease risk prediction by combined stratification of low-density lipoprotein-cholesterol and high-density lipoprotein-cholesterol levels across different glucose statuses.	Diabetes Obes Metab. 2024 Dec;26(12):5845–5856.	Original Article
61	Sone H, Horikawa C, Tanaka–Mizuno S, et al	血液・内分泌・代謝内科	Japan Diabetes Complications Study: Revisiting one of the first large-scale clinical studies in East Asians with diabetes.	J Diabetes Investig. 2025 Mar;16(3):360–369.	Original Article

62	Ikeda I, Igarashi R, Fujihara K, et al	血液・内分泌・代謝内科	Cross-sectional and Longitudinal Associations Between Family History of Type 2 Diabetes Mellitus, Hypertension, and Dyslipidemia and Their Prevalence and Incidence: Toranomon Hospital Health Management Center Study (TOPICS24).	Mayo Clin Proc. 2025 Jan 27:S0025-6196(24)00615- 3.	Original Article
63	Ferreira ED, Hatta M, Laymon K, et al	血液・内分泌・代謝内科	Demographic and dietary determinants of the association between dietary fibre intake and obesity in Japanese adults with type 2 diabetes: a cross-sectional study (JDDM 78).	Public Health Nutr. 2025 Feb 4;28(1):e49. (オンライン ン)	Original Article
64	Matsubayashi Y, Fujihara K, Khin L, et al	血液・内分泌・代謝内科	Association of changes in the type 2 diabetes and MASLD/related SLD status with risk of developing cardiovascular disease.	Diabetes Obes Metab. 2025 Apr;27(4):2035- 2043.	Original Article
65	Takizawa J, Teshima T, Ennishi D, et al	血液・内分泌・代謝内科	Safety and efficacy of acalabrutinib and obinutuzumab in treatment-naïve chronic lymphocytic leukemia: a Japanese phase 1 study.	Leuk Lymphoma. 2024 Nov;65(11):1586-1594.	Original Article
66	Yamamoto M, Fujihara K, Hasebe H, et al	血液・内分泌・代謝内科	Positive association of large alcohol intake per occasion with vision- threatening severe diabetic retinopathy or diabetic macular edema in Japanese men with type 2 diabetes.	Prev Med. 2025 Feb;191:108220.	Original Article

67	Wakamatsu T, Yamamoto S, Yoshida S, et al	腎・膠原病内科	Indoxyl Sulfate-Induced Macrophage Toxicity and Therapeutic Strategies in Uremic Atherosclerosis.	Toxins (Basel). 2024 May 31;16(6):254. (オンライン)	Original Article
68	Ogino T, Watanabe H, Yamazaki S, et al	腎・膠原病内科	Ectopic Production of Parathyroid Hormone and Production of Parathyroid Hormone-related Protein in Dedifferentiated Endometrial Carcinoma Induced Severe Hypercalcemia.	Intern Med. 2025 Apr 1;64(7):1053-1059.	Case Report
69	Suzuki Y, Kaseda R, Nakagawa Y, et al	腎・膠原病内科	Nephrotic syndrome induces the upregulation of cell proliferation-related genes in tubular cells in mice.	Clin Exp Nephrol. 2025 Apr;29(4):393-404.	Original Article
70	Shiia T, Watanabe H, Aida R, et al	腎・膠原病内科	Genetic and protein structure prediction analyses identify a rare pathogenic PKD1 variant causing autosomal dominant polycystic kidney disease.	CEN Case Rep. 2025 Mar 14.	Original Article
71	Nakamura J, Kaseda R, Takeuchi M, et al	腎・膠原病内科	Adolescents and parents' knowledge of chronic kidney disease: the potential of school-based education.	Clin Exp Nephrol. 2025 Mar;29(3):292-300.	Original Article
72	Kabasawa H, Hosojima M, Kanda E, et al	腎・膠原病内科	Efficacy and safety of intradialytic parenteral nutrition using ENEFLUIDAR in malnourished patients receiving maintenance hemodialysis: An exploratory, multicenter, randomized, open-label study.	PLoS One. 2024 Dec 12;19(12):e0311671. (オンライン)	Original Article

73	Tanaka M, Hosojima M, Kabasawa H, et al	腎・膠原病内科	Association Between Potential Renal Acid Load and 10-Year Mortality in Patients on Hemodialysis.	J Ren Nutr. 2025 Mar;35(2):344-352.	Original Article
74	Yamamoto S, Niihata K, Toida T, et al	腎・膠原病内科	Frailty and Duration of Maintenance Dialysis: A Japanese Nationwide Cross- Sectional Study.	Am J Kidney Dis. 2024 Nov;84(5):601-612.e1.	Original Article
75	Kaneko Y, Sato H, Wakamatsu A, et al	腎・膠原病内科	Pathogenetic associations of anti- ribosomal P protein antibody titres and their subclasses in patients with systemic lupus erythematosus.	Rheumatology (Oxford). 2024 May 2;63(5):1411- 1421.	Original Article
76	Sato H, Kondo N, Kurosawa Y, et al	腎・膠原病内科	Incidence and clinical course of femoral localized periosteal thickening and atypical femoral fracture over a 10- year period in patients with autoimmune inflammatory rheumatic disease.	JBMR Plus. 2024 Jul 10;8(9):ziae090. (オンライ ン)	Original Article
77	Murayama T, Hosojima M, Kabasawa H, et al	腎・膠原病内科	Changes in daily intake of nutrients and foods including confectionery after the initiation of empagliflozin in Japanese patients with type 2 diabetes: a pilot study.	BMC Nutr. 2024 Jul 4;10(1):95. (オンライン)	Original Article
78	Kabasawa K, Takachi R, Hosojima M, et al	腎・膠原病内科	Association of Protein Intake With Discordance Between Cystatin C- and Creatinine-Based Estimated Glomerular Filtration Rates in Community-dwelling Japanese Adults.	J Ren Nutr. 2025 Jan 3:S1051-2276(24)00289- 9.	Original Article

79	Suzuki Y, Otsuka T, Takahashi Y, et al	腎・膠原病内科	CD38 ligation in sepsis promotes nicotinamide phosphoribosyltransferase-mediated IL-6 production in kidney stromal cells.	Nephrol Dial Transplant. 2024 Nov 20:gfae269.	Original Article
80	Elguoshy A, Yamamoto K, Hirao Y, et al	腎・膠原病内科	Investigating and Annotating the Human Peptidome Profile from Urine under Normal Physiological Conditions.	Proteomes. 2024 Jun 25;12(3):18. (オンライン)	Original Article
81	Goto S, Hosojima M, Kabasawa H, et al	腎・膠原病内科	Megalin-related mechanism of hemolysis-induced acute kidney injury and the therapeutic strategy.	J Pathol. 2024 Jul;263(3):315-327.	Original Article
82	Goto S, Tsutsumi A, Lee Y, et al	腎・膠原病内科	Cryo-EM structures elucidate the multiligand receptor nature of megalin.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2024 May 28;121(22):e2318859121.	Original Article
83	Sofuku R, Miyazaki S, Hosojima M, et al	腎・膠原病内科	Development of sandwich enzyme-linked immunosorbent assays quantifying mouse urinary megalin, a novel proximal tubular biomarker.	J Immunol Methods. 2024 Nov;534:113763.	Original Article
84	Takeda N, Koya T, Hasegawa T, et al	呼吸器・感染症内科	Prevalence and characteristics of dysfunctional breathing in patients with asthma in the Japanese population.	Respir Investig. 2024 Nov;62(6):1015-1020.	Original Article
85	Murai Y, Koya T, Koda H, et al	呼吸器・感染症内科	Dupilumab efficacy in relation to changes in club cell secretory protein 16.	Ann Allergy Asthma Immunol. 2025 May;134(5):556-562.e2.	Original Article

86	Aoki A, Iwamura C, Kiuchi M, et al	呼吸器・感染症内科	Suppression of Type I Interferon Signaling in Myeloid Cells by Autoantibodies in Severe COVID-19 Patients.	J Clin Immunol. 2024 Apr 22;44(4):104. (オンライン)	Original Article
87	Yamagishi I, Bamba Y, et Moro H, et al	呼吸器・感染症内科	Retrospective Comparison of Two Aspergillus IgG Enzyme Immunoassays for Diagnosing Pulmonary Aspergillosis.	Med Mycol J. 2024;65(3):41-47.	Original Article
88	Kikuchi T	呼吸器・感染症内科	A New Opportunity in Respiriology.	Respirology. 2025 Mar;30(3):181-182.	Original Article
89	Tanaka T, Goto Y, Masuda K, et al	呼吸器・感染症内科	The remarkable antitumor efficacy of corticosteroid treatment in patients with refractory thymomas.	Respir Investig. 2024 Sep;62(5):766-772.	Original Article
90	Kurashina K, Hokari S, Koizumi T, et al	呼吸器・感染症内科	An Autopsy Case of Bronchiolitis Obliterans Associated With Oral Lichen Planus and Non- Hodgkin Lymphoma.	Cureus. 2025 Mar 23;17(3):e81048. (オンライン)	Case Report
91	Goto Y, Watanabe S, Yanagimura N, et al	呼吸器・感染症内科	The diagnostic value of comprehensive next-generation sequencing for genetic mutations in suspected lung cancer cases with negative pathological cytology.	Lung Cancer. 2025 Apr;202:108505.	Original Article

92	Saito A, Koya T, Aoki A, et al	呼吸器・感染症内科	Mechanism differences in the start time of sublingual immunotherapy in a mouse allergic airway inflammation model.	Sci Rep. 2024 Nov 1;14(1):26334. (オンライン)	Original Article
93	Tanaka K, Kimura Y, Aoki A, et al	呼吸器・感染症内科	Successful Treatment with Mycophenolate Mofetil in a Patient with Anti-MDA 5 Antibody-positive Interstitial Lung Disease and Posterior Reversible Encephalopathy Syndrome.	Intern Med. 2025 Jan 1;64(1):113-117.	Case Report
94	Kumagai M, Tsuchiya A, Yang Y, et al	消化器内科	Fibulin-4 as a potential extracellular vesicle marker of fibrosis in patients with cirrhosis.	FEBS Open Bio. 2024 Aug;14(8):1264-1276.	Original Article
95	Yamazaki S, Tominaga K, Watanabe K, et al	消化器内科	Coexistence of Relapsing Polychondritis, Crohn's Disease, and Pyoderma Gangrenosum Treated Successfully with Adalimumab: A Case Report and Literature Review.	Intern Med. 2025 Mar 22.	Original Article
96	Yakubo S, Abe H, Li Y, et al	消化器内科	Dasatinib and Quercetin as Senolytic Drugs Improve Fat Deposition and Exhibit Antifibrotic Effects in the Medaka Metabolic Dysfunction-Associated Steatotic	Diseases. 2024 Dec 4;12(12):317. (オンライン)	Original Article
97	Kojima Y, Tsuchiya A, Mito M, et al	消化器内科	Urinary NGAL in gastrointestinal diseases can be used as an indicator of early infection in addition to acute kidney injury marker.	JGH Open. 2024 Jul 29;8(8):e70009. (オンライン)	Original Article

98	Terai S, Ezoe S, Mano K, et al	消化器内科	Recommendations for the safe implementation of intravenous administration of mesenchymal stromal cells.	Regen Ther. 2025 Mar 19;29:171–176. (オンライン)	Original Article
99	Sakamaki A, Yokoyama K, Yamazaki H, et al	消化器内科	Small Intestinal Bacterial Overgrowth Is a Predictor of Overt Hepatic Encephalopathy in Patients with Liver Cirrhosis.	J Clin Med. 2025 Feb 23;14(5):1491. (オンライン)	Original Article
100	Tominaga K, Kechele DO, Sanchez JG, et al	消化器内科	Deriving Human Intestinal Organoids with Functional Tissue-Resident Macrophages All From Pluripotent Stem Cells.	Cell Mol Gastroenterol Hepatol. 2025;19(4):101444.	Original Article
101	Tominaga K, Alexey A, Tanaka Y, et al	消化器内科	Extremely Rare Isolated Small-Intestinal Polyp Diagnosed by Double-Balloon Endoscopy in an Asymptomatic Adult Patient.	Clin Case Rep. 2025 Mar 10;13(3):e70255. (オンライン)	Original Article
102	Ishikawa N, Watanabe Y, Maeda Y, et al	消化器内科	Human placental extract improves liver cirrhosis in mice with regulation of macrophages and senescent cells.	Regen Ther. 2025 Feb 4;28:509–516. (オンライン)	Original Article
103	Yamazaki S, Watanabe Y, Takahashi K, et al	消化器内科	Diffuse Large B-cell Lymphoma with Severe Lactic Acidosis and Liver Failure: A Case Report and Literature Review.	Intern Med. 2025 May 15;64(10):1534–1541.	Case Report

104	Tominaga K, Kojima Y, Kawata Y, et al	消化器内科	An updated review on the treatment for diversion colitis and pouchitis, with a focus on the utility of autologous fecal microbiota transplantation and its relationship with the intestinal	Biosci Microbiota Food Health. 2024;43(3):162– 169.	Original Article
105	Maeda Y, Watanabe Y, Ishikawa N, et al	消化器内科	Platelet-rich plasma- derived extracellular vesicles improve liver cirrhosis in mice.	Regen Ther. 2024 Nov 6;26:1048–1057. (オンライ ン)	Original Article
106	Terai S, Asonuma M, Hoshino A, et al	消化器内科	Guidance on the clinical application of extracellular vesicles.	Regen Ther. 2025 Mar 7;29:43–50. (オンライン)	Original Article
107	Kodama E, Kawata Y, Yamazaki S, et al	消化器内科	Diagnosis and resolution of olmesartan- associated sprue-like enteropathy confirmed by capsule endoscopy: a case report and literature review.	Clin J Gastroenterol. 2024 Oct;17(5):891–898.	Case Report
108	Takahashi K, Sato H, Shimamura Y, et al	消化器内科	Persistent body- weight change on achalasia and peroral endoscopic myotomy: a multicenter cohort study.	J Gastroenterol. 2025 May;60(5):535–545.	Original Article
109	Koyama K, Sakamaki A, Morita S, et al	消化器内科	Maid gene dysfunction promotes hyperobesity via the reduction of adipose tissue inflammation in Mc4r gene-deficient mice.	Sci Rep. 2024 Sep 10;14(1):21126. (オンライ ン)	Original Article

110	Naruse T, Sato H, Takahashi K, et al	消化器内科	Association between Clinical Characteristics and Sarcopenia or Sarcopenic Obesity in Crohn's Disease.	Intern Med. 2025 May 15;64(10):1451-1458.	Original Article
111	Takahashi K, Sato H, Shimamura Y, et al	消化器内科	Novel scale for evaluating the therapeutic efficacy of per-oral endoscopic myotomy in achalasia.	J Gastroenterol. 2024 Aug;59(8):658-667.	Original Article
112	Kanda T, Sasaki- Tanaka R, Terai S	消化器内科	Inflammation of the liver, HCC development and HCC establishment.	Hepatol Int. 2024 Aug;18(4):1090-1092.	Original Article
113	Suda T	消化器内科	Targeting therapy for hepatocellular carcinoma by delivering microRNAs as exosomal cargo.	World J Gastroenterol. 2024 May 7;30(17):2369- 2370.	Original Article
114	Kanda T, Sasaki- Tanaka R, Kimura N, et al	消化器内科	Pruritus in Chronic Cholestatic Liver Diseases, Especially in Primary Biliary Cholangitis: A Narrative Review.	Int J Mol Sci. 2025 Feb 22;26(5):1883. (オンライ ン)	Original Article
115	Kanda T, Li TC, Takahashi M, et al	消化器内科	Recent advances in hepatitisA?E virus research and the Japanese clinical practice guidelines for hepatitisA?E virus infection.	Hepatol Res. 2024 Aug;54(8):1-30.	Original Article

116	Kanda T, Sasaki- Tanaka R, Tsuchiya A, et al	消化器内科	Hepatitis B virus infection and its treatment in Eastern Ethiopia.	World J Hepatol. 2025 Jan 27;17(1):99209.	Original Article
117	Kanda T, Sasaki- Tanaka R, Terai S	消化器内科	Liver Diseases: From Bench to Bedside.	Int J Mol Sci. 2024 May 17;25(10):5454. (オンライン)	Original Article
118	Kanda T, Sasaki- Tanaka R, Terai S	消化器内科	Combination therapies with immune checkpoint inhibitor-based combination therapies for hepatocellular carcinoma with major vascular invasion.	Hepatol Int. 2025 Feb 8.	Original Article
119	Hatakeyama Y, Kimura AM, Tsuboguchi S, et al	脳神経内科	A case of cerebral amyloid angiopathy with ipsilateral tau and contralateral amyloid PET uptake related to cadaveric dura mater implanted in childhood.	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2024 Dec 19.	Original Article
120	Hongo S, Ikeda T, Tada M, et al	脳神経内科	Novel Aspects of Hereditary Spastic Paraplegia: A Clinicopathologic and Biochemical Study of a Patient With a Heterozygous GCH1 Variant.	Neuropathol Appl Neurobiol. 2025 Feb;51(1):e70006.	Original Article
121	Nakajima A, Hokari M, Yanagimura F, et al	脳神経内科	Long-Term Clinical Landscapes of Spinal Hypertrophic Pachymeningitis With Anti-Neutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis.	Neurology. 2025 Apr 22;104(8):e213420.	Original Article

122	Hatakeyama M, Kanayama T, Tokunaga S, et al	脳神経内科	A case of isolated dystextia due to subcortical infarction: a novel condition of digital device era.	BMC Neurol. 2024 Oct 5;24(1):374. (オンライン)	Case Report
123	Nakamura K, Kanazawa M, Koike Y, et al	脳神経内科	Early diagnosis of cryptococcal meningoencephalitis in HIV-negative patients: Integration of brain MRI and clinical findings.	eNeurologicalSci. 2025 Jan 9;38:100552. (オンライン)	Original Article
124	Watanabe M, Isobe N, Niino M, et al	脳神経内科	Prevalence of, and Disability Due to, Multiple Sclerosis and Neuromyelitis Optica Spectrum Disorder in Japan by the Fifth Nationwide Survey.	Neurology. 2024 Nov 26;103(10):e209992.	Original Article
125	Ishiguro T, Kasuga K	脳神経内科	Alzheimer's Disease-Related Cerebrospinal Fluid Biomarkers in Progressive Supranuclear Palsy.	Brain Sci. 2024 Aug 26;14(9):859. (オンライン)	Original Article
126	Wang Q, Tsuboguchi S, Okamoto K, et al	脳神経内科	Case report: Progressive multifocal leukoencephalopathy co-occurring with neurosarcoidosis: early brain biopsy and appropriate therapy for PML resulted in a favorable prognosis.	Front Immunol. 2024 Oct 11;15:1447992. (オンライン)	Case Report
127	Ishihara T, Koyama A, Atsuta N, et al	脳神経内科	SMN2 gene copy number affects the incidence and prognosis of motor neuron diseases in Japan.	BMC Med Genomics. 2024 Nov 6;17(1):263. (オンライン)	Original Article

128	Hongo S, Shimizu H, Saji E, et al	脳神経内科	Acute respiratory failure caused by brainstem demyelinating lesions in an older patient with an atypical relapsing autoimmune disorder.	Neuropathology. 2025 Feb;45(1):3-12.	Case Report
129	Ando S, Saito R, Kitahara S, et al	脳神経内科	"Chocolate Chip Sign" on Susceptibility-Weighted Imaging: A Novel Neuroimaging Biomarker for HTRA1-Related Cerebral Small Vessel Disease.	Neurol Genet. 2025 Feb 26;11(2):e200237. (オンライン)	Original Article
130	Kanayama T, Hatakeyama M, Akiyama N, et al	脳神経内科	Oxygen-glucose-deprived peripheral blood mononuclear cells act on hypoxic lesions after ischemia-reperfusion injury.	Exp Neurol. 2025 Mar;385:115121.	Original Article
131	Akiyama N, Kanazawa M, Kasuga K, et al	脳神経内科	Utility of Cerebrospinal Fluid Transferrin Receptor per Ferritin Ratio in Progressive Supranuclear Palsy.	Mov Disord Clin Pract. 2025 Apr;12(4):446-452.	Original Article
132	Kizaki T, Kanazawa M, Ishiguro T, et al	脳神経内科	Indications for a brain biopsy in neurological diseases of unknown etiology: The role of magnetic resonance imaging findings and liquid biopsy in yielding definitive pathological diagnoses.	J Neurol Sci. 2024 Aug 15;463:123150.	Original Article
133	Ishihara T, Tada M, Kanemitsu Y, et al	脳神経内科	L-arginine in patients with spinocerebellar ataxia type 6: a multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 2 trial.	EClinicalMedicine. 2024 Nov 25;78:102952. (オンライン)	Original Article

134	Nakajima A, Yanagimura F, Saji E, et al	脳神経内科	Stage-dependent immunity orchestrates AQP4 antibody-guided NMOSD pathology: a role for netting neutrophils with resident memory T cells in situ.	Acta Neuropathol. 2024 Apr 24;147(1):76. (オンライン)	Original Article
135	Hatano Y, Ishihara T, Hirokawa S, et al	脳神経内科	Redefining the Pathogenic CAG Repeat Units Threshold in CACNA1A for Spinocerebellar Ataxia Type 6.	Neurol Genet. 2025 Feb 21;11(2):e200245. (オンライン)	Original Article
136	Kamimura K, Haga H, Wada T, et al	腫瘍内科	Changes in Psychological Condition during Cancer Chemotherapy.	Asian Pac J Cancer Prev. 2024 Jul 1;25(7):2475-2481. (オンライン)	Original Article
137	Onda K, Ichwansyah R, Kawasaki K, et al	精神科	Spontaneous theory of mind in autism: are anticipatory gaze and reaction time biases consistent?	Front Psychiatry. 2024 Dec 9;15:1189777. (オンライン)	Original Article
138	Ichwansyah R, Onda K, Egawa J, et al	精神科	Animacy processing by distributed and interconnected networks in the temporal cortex of monkeys.	Front Behav Neurosci. 2024 Dec 13;18:1478439. (オンライン)	Original Article
139	Egawa J, Lemmon VP, Someya T	精神科	Editorial: Effects of autism spectrum disorder (ASD) risk genes on phenotypes of each hierarchy.	Front Neurol. 2024 Oct 22;15:1508494. (オンライン)	Original Article

140	Hadi AF, Arta RK, Kushima I, et al	精神科	Association Analysis of Rare CNTN5 Variants With Autism Spectrum Disorder in a Japanese Population.	Neuropsychopharmacol Rep. 2025 Mar;45(1):e12527.	Original Article
141	Watanabe Y, Otake M, Ono S, et al	精神科	Decreased oral function in Japanese inpatients with schizophrenia.	Neuropsychopharmacol Rep. 2024 Jun;44(2):356–360.	Original Article
142	Watanabe Y, Nishioka M, Morikawa R, et al	精神科	Rare nonsynonymous germline and mosaic de novo variants in Japanese patients with schizophrenia.	Psychiatry Clin Neurosci. 2025 Jan;79(1):37–44.	Original Article
143	Nukaga S, Numano F, Saitoh A	小児科	Successful oral midodrine therapy for treatment of refractory postoperative chylothorax in an infant.	Cardiol Young. 2024 Jun;34(6):1385–1386.	Case Report
144	Saitoh A, Nishiya K, Miyairi I, et al	小児科	Launch of Board Certification in Pediatric Infectious Diseases in Japan.	Pediatr Infect Dis J. 2024 Aug 1;43(8):e270–e274.	Original Article
145	Onuki T, Hiroaki T, Sawano K, et al	小児科	Robust growth hormone responses to GH-releasing peptide 2 in adolescents.	J Pediatr Endocrinol Metab. 2024 Jul 4;37(8):730–733. (オンライン)	Original Article

146	Aizawa Y, Sato I, Abe Y, et al	小児科	Impact of the emergence of severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 omicron variants on routine childhood immunization in Japan.	Vaccine. 2024 Aug 30;42(21):126137.	Original Article
147	Shimotsuma T, Tomotaki S, Akita M, et al	小児科	Severe Bronchopulmonary Dysplasia Adversely Affects Brain Growth in Preterm Infants.	Neonatology. 2024;121(6):724-732.	Original Article
148	Tachikawa J, Aizawa Y, Ikuse T, et al	小児科	Clinical Characteristics of Hospitalized Children With Coronavirus Disease 2019 After the Spread of the BA.5 Omicron Variants in Japan.	Pediatr Infect Dis J. 2025 Jan 28.	Original Article
149	Onuki T, Kojima K, Sawano K, et al	小児科	Atypical case of neonatal-onset Gaucher disease type 3b: A case report.	Mol Genet Metab Rep. 2025 Mar 29;43:101211. (オンライン)	Case Report
150	Ikuse T, Aizawa Y, Kamata K, et al	小児科	Burden of rotavirus and other microorganisms in hospitalized children with acute gastroenteritis in Yangon, Myanmar, before the introduction of rotavirus vaccine.	IJID Reg. 2025 Jan 31;14:100589. (オンライン)	Original Article
151	Hirose Y, Aizawa M, Yabusaki H, et al	消化器・一般外科	ASO Author Reflections: Preoperative Chemotherapy Provides Survival Benefits Compared with Upfront Surgery for Patients with Liver-Limited Metastasis from Gastric Cancer.	Ann Surg Oncol. 2024 Jun;31(6):4052-4053.	Original Article

152	Hirose Y, Oba A, Inoue Y, et al	消化器・一般外科	Arterial resection and divestment in pancreatic cancer surgery in the era of multidisciplinary treatment: decadal comparative study.	BJS Open. 2025 Mar 4;9(2):zraf026.	Original Article
153	Nakano M, Shimada Y, Ozeki H, et al	消化器・一般外科	A case of deep endometriosis with cyst formation as a differential diagnosis of rectal duplication cyst in the presacral space.	Clin J Gastroenterol. 2025 Apr;18(2):330-336.	Case Report
154	Miura Y, Sakata J, Nomura T, et al	消化器・一般外科	Combined pancreaticoduodenectomy for advanced gallbladder cancer: Indications, surgical outcomes, and limitations.	Eur J Surg Oncol. 2024 Nov;50(11):108614.	Original Article
155	Hirose Y, Sakata J, Nomura T, et al	消化器・一般外科	Prognostic relevance of lymph node metastasis in pancreaticoduodenectomy for distal cholangiocarcinoma: Rational extent and number-based nodal classification for regional lymphadenectomy.	Surgery. 2025 Apr;180:109099.	Original Article
156	Ichikawa H, Ishikawa T, Sugai M, et al	消化器・一般外科	Prognostic Significance of NQO1 Expression in Non-neoplastic Esophageal Squamous Epithelium for Patients With Esophageal Cancer.	Anticancer Res. 2024 May;44(5):1915-1924.	Original Article
157	Hirose Y, Oba A, Takamatsu M, et al	消化器・一般外科	Caveolin-1 expression is a predictor of survival and recurrence patterns in resected pancreatic ductal adenocarcinoma.	Pancreatology. 2024 Nov;24(7):1021-1030.	Original Article

158	Ichikawa H, Aizawa M, Kano Y, et al	消化器・一般外科	Landscape of homologous recombination deficiency in gastric cancer and clinical implications for first-line chemotherapy.	Gastric Cancer. 2024 Nov;27(6):1273–1286.	Original Article
159	Ichikawa H, Usui K, Aizawa M, et al	消化器・一般外科	Clinical application of targeted tumour sequencing tests for detecting ERBB2 amplification and optimizing anti-HER2 therapy in gastric cancer.	BMC Cancer. 2024 Jun 11;24(1):719. (オンライン)	Original Article
160	Shimada Y, Matsumoto A, Abe K, et al	消化器・一般外科	Primary adenocarcinoma arising from rectal implantation cyst after low anterior resection for rectal cancer 31A?years previously.	Clin J Gastroenterol. 2024 Oct;17(5):899–903.	Case Report
161	Shiraishi S, Watanabe M, Sugimoto A, et al	胸部外科	Surgical outcomes of the systemic-to-pulmonary artery shunt: risk factors of post-operative acute events and effectiveness of regulation of pulmonary blood flow with metal clips.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Nov;72(11):710–717.	Original Article
162	Mishima T, Tada H, Okoshi Y, et al	胸部外科	Valved-conduit subcoronary implantation technique for fragile aortic annulus.	JTCVS Tech. 2025 Jan 23;30:46–47. (オンライン)	Original Article

163	Ibuchi S, Imai N, Horigome Y, et al	整形外科	Long-Term Outcomes and a Radiological Assessment of Hydroxyapatite-Tricalcium Phosphate-Coated Total Hip Arthroplasty (Trilogy/Zimmer): A Long-Term Follow-Up Study.	Medicina (Kaunas). 2024 Jul 17;60(7):1154. (オンライン)	Original Article
164	Hijikata H, Mochizuki T, Maeda K, et al	整形外科	The comparison of three dimensional and two dimensional evaluation of varus/valgus stress X-rays following total knee arthroplasty.	J Orthop Surg Res. 2025 Mar 29;20(1):326. (オンライン)	Original Article
165	Chi F, Takagi S, Mochizuki T, et al	整形外科	The Quadriceps Vector in the Lower Extremity of Indian Patients Is Similar in Caucasian and Japanese Patients.	J Arthroplasty. 2025 Mar 15:S0883-5403(25)00232-3.	Original Article
166	Otani K, Sato T, Kobayashi K, et al	整形外科	Effects of three-dimensional femur and tibia postures on the parameters of standing long-leg radiographs for osteoarthritic knees in elderly female subjects.	Clin Biomech (Bristol). 2024 Jul;117:106297.	Original Article
167	Homma D, Imai N, Miyasaka D, et al	整形外科	Motor function is related to the lower phase angle than to muscle mass of the lower limbs in older females with hip osteoarthritis: a cross-sectional observational study.	BMC Musculoskelet Disord. 2024 Sep 7;25(1):720. (オンライン)	Original Article

168	Shirono M, Imai N, Homma D, et al	整形外科	Essential Safety Considerations for Total Hip Arthroplasty: Pelvic and Spine Alignment Across Age Groups in Women at an Osteoporosis Outpatient Clinic-A Retrospective Observational Study.	J Clin Med. 2025 Mar 9;14(6):1847. (オンライン)	Original Article
169	Chi F, Mochizuki T, Koga H, et al	整形外科	Association between three-dimensional gait kinematics and joint-line inclination in osteoarthritic knees compared with normal knees: An epidemiological study.	J Exp Orthop. 2024 Jun 11;11(3):e12040. (オンライン)	Original Article
170	Homma D, Imai N, Miyasaka D, et al	整形外科	Decreased Lower Limb Phase Angle in Older People Is an Indicator of Standing and Gait Function, Regardless of Age.	J Clin Med. 2025 Feb 6;14(3):1023. (オンライン)	Original Article
171	Sakaguchi A, Kondo N, Kakutani R, et al	整形外科	A case of juvenile-onset ankylosing spondylitis effectively treated with tumour necrosis factor-alpha inhibitor agents.	Mod Rheumatol Case Rep. 2024 Jul 8;8(2):259-263.	Case Report
172	Ohashi M, Sato M, Tashi H, et al	整形外科	Mixed Reality-Based Navigation for Pedicle Screw Placement: A Preliminary Study Using a 3D-Printed Spine Model.	Cureus. 2024 Apr 28;16(4):e59240. (オンライン)	Original Article

173	Kimura K, Imai N, Nozaki A, et al	整形外科	Usefulness of Elastic Bandage Compression Compared to Calf Massage to Prevent Venous Thromboembolism-A Retrospective Evaluation.	J Clin Med. 2024 Jul 25;13(15):4355. (オンライ ン)	Original Article
174	Tanaka Y, Natsumeda M, Ohashi M, et al	整形外科	Primary spinal cord gliomas: Pathologic features associated with prognosis.	J Neuropathol Exp Neurol. 2024 Dec 1;83(12):1010- 1019.	Original Article
175	Soeno T, Sato T, Kobayashi K, et al	整形外科	Three-dimensional evaluation of lower extremity alignment during gait and standing in healthy elderly individuals: A comparative study using fluoroscopy and 3D to 2D image matching.	Biomed Mater Eng. 2025 Feb 4:9592989251315369.	Original Article
176	Ohashi M, Watanabe K, Hirano T, et al	整形外科	Neck and shoulder pain in thoracic adolescent idiopathic scoliosis 10 years after posterior spinal fusion.	Eur Spine J. 2024 Jun;33(6):2522-2529.	Original Article
177	Ohtsubo S, Ohashi M, Hirano T, et al	整形外科	Delayed paraparesis after posterior spinal fusion for congenital scoliosis: a case report.	Spinal Cord Ser Cases. 2024 Apr 17;10(1):24. (オ ンライン)	Case Report
178	Nawata A, Koga H, Sasaki R, et al	整形外科	Accuracy of a portable lower-limb muscle strength measuring device with a training function.	J Phys Ther Sci. 2024 Jun;36(6):343-351.	Original Article

179	Ibuchi S, Imai N, Horigome Y, et al	整形外科	The Three-Dimensional Criteria of Developmental Dysplasia of the Hip Using the Functional Pelvic Plane Is More Useful Than That Using the Anterior Pelvic Plane.	J Clin Med. 2024 Apr 26;13(9):2536. (オンライン)	Original Article
180	Kinoshita E, Kondo N, Tanifuji O, et al	整形外科	Effective Use of Ultra-High Molecular Weight Polyethylene Cable and Krackow Suture for Stretched Out Patellar Tendon due to Scarring in a Case with Rheumatoid Arthritis Post-Total Knee Arthroplasty.	Mod Rheumatol Case Rep. 2024 Dec 12:rxae074.	Original Article
181	Asakura T, Diep TTT, Ueda Y, et al	形成・美容外科	Analysis of the Effect of Human Type I Collagen-Derived Peptide on Bone Regenerative Capacity and Comparison with Various Collagen Materials In Vivo.	Medicina (Kaunas). 2025 Jan 2;61(1):57. (オンライン)	Original Article
182	Natsumeda M, Shibuma S, Takahashi H, et al	脳神経外科	Recent advances in liquid biopsy of central nervous system lymphomas: case presentations and review of the literature.	Brain Tumor Pathol. 2024 Apr;41(2):85-91.	Case Report
183	Saito S, Hasegawa H, Takahashi H, et al	脳神経外科	Successful use of gadolinium contrast medium for flow-diverter stent placement in a patient with hypersensitivity to iodinated contrast: A case report.	Neuroradiol J. 2025 Jan 7:19714009251313505.	Original Article

184	Mizuta R, Saito S, Kawabe K, et al	脳神経外科	Endovascular treatment for aggressive vertebrobasilar stenosis due to giant cell arteritis: illustrative cases.	J Neurosurg Case Lessons. 2024 Oct 21;8(17):CASE24404. (オン ライン)	Original Article
185	Suzuki T, Hasegawa H, Shibuya K, et al	脳神経外科	Clinical and Hemodynamic Features of Aneurysm Rupture in Coil Embolization of Intracranial Aneurysms.	Diagnostics (Basel). 2024 Jun 6;14(11):1203. (オンラ イン)	Original Article
186	Suzuki T, Hasegawa H, Fujiwara H, et al	脳神経外科	Visualization of cortical neoangiogenesis after combined revascularization surgery in moyamoya disease using silent MRA.	Neuroradiology. 2025 Feb;67(2):321–329.	Original Article
187	Shibuma S, On J, Natsumeda M, et al	脳神経外科	Diagnosis of Leptomeningeal Disease in Diffuse Midline Gliomas by Detection of H3F3A K27M Mutation in Circulating Tumor DNA of Cerebrospinal Fluid.	Pediatr Blood Cancer. 2025 Apr;72(4):e31535.	Original Article
188	Borzova E	皮膚科	Global biotechnology leapfrogging during the COVID-19 pandemic: a trend to stay?	Trends Biotechnol. 2024 Nov;42(11):1327–1330.	Original Article
189	Katsumi T, Hayashi R, Takei S, et al	皮膚科	Reevaluating hybrid neurofibroma/schwan noma: Predominance of schwannoma features despite CD34 positivity and initial neurofibroma diagnosis.	J Dermatol. 2024 Nov;51(11):1461–1469.	Original Article

190	Nishiguchi T, Kimura H, Saito Y, et al	皮膚科	P2X7R-primed keratinocytes are susceptible to apoptosis via GPCR-GI2I3-pERK signal pathways.	J Dermatol Sci. 2024 Dec;116(3):90-99.	Original Article
191	Kimura H, Hasegawa A, Kawai T, et al	皮膚科	A case of cutaneous adverse reaction to COVID-19 vaccine caused by polyethylene glycol.	Eur J Dermatol. 2024 Jun 1;34(3):327-329.	Case Report
192	Hasegawa A, Abe R	皮膚科	Stevens-Johnson syndrome and toxic epidermal necrolysis: Updates in pathophysiology and management.	Chin Med J (Engl). 2024 Oct 5;137(19):2294-2307.	Original Article
193	Kimura H, Ansai O, Takai T, et al	皮膚科	A case of poroid neoplasms with intradermal band-like lipomatous metaplasia.	J Dermatol. 2025 May;52(5):e373-e374.	Letter
194	Sato H, Hashimoto W, Nannba A, et al	皮膚科	Pyoderma gangrenosum with significant seborrheic keratosis-like lesions.	J Dermatol. 2024 Dec;51(12):e435-e437.	Letter
195	Saito Y, Lotti R, Kimura H, et al	皮膚科	Advancements in Stevens-Johnson Syndrome/Toxic Epidermal Necrolysis Treatment: Utilizing Fas-FasL Inhibition to Target Cell Death Signaling Pathways for Practical Human Application.	J Invest Dermatol. 2025 Apr;145(4):962-965.e4.	Original Article

196	Yuki A, Abe R	皮膚科	Significance of cell adhesion molecule 1 expression in mycosis fungoides: Diagnostic implications and clinical correlations.	J Dermatol. 2025 Mar;52(3):562–564.	Original Article
197	Suzuki S, Hama N, Suzuki R, et al	皮膚科	Two cases of lichen planus pigmentosus inversus improved by topical tacrolimus application and the avoidance of tight clothing.	J Dermatol. 2025 Mar;52(3):e231–e232.	Letter
198	Sato M, Hama N, Higuchi M, et al	皮膚科	A case of infantile hemangioma with minimal or arrested growth: clinical differentiation and efficacy of propranolol therapy.	Eur J Dermatol. 2025 Feb 1;35(1):49–50.	Original Article
199	Kimura H, Hama N, Akihiko Y, et al	皮膚科	Characteristics of post-irradiation morphea in non-breast cancer patients.	Eur J Dermatol. 2024 Oct 1;34(5):543–544.	Original Article
200	Higuchi M, Hayashi R, Sato M, et al	皮膚科	A case of toxic epidermal necrolysis like vancomycin-induced linear IgA bullous dermatosis without autoantibody for type VII collagen.	J Dermatol. 2025 May;52(5):e347–e348.	Letter
201	Hama N, Aoki S, Chen CB, et al	皮膚科	Recent progress in Stevens–Johnson syndrome/toxic epidermal necrolysis: diagnostic criteria, pathogenesis and treatment.	Br J Dermatol. 2024 Dec 23;192(1):9–18.	Original Article

202	Borzova E, Snarskaya E, Bratkovskaya A	皮膚科	Eyelid dermatitis in patch-tested adult patients: a systematic review with a meta- analysis.	Sci Rep. 2024 Aug 13;14(1):18791. (オンライ ン)	Original Article
203	Takei S, Hayashi R, Hama N, et al	皮膚科	Cytomegalovirus complications in drug-induced hypersensitivity syndrome/drug reaction with eosinophilia and systemic symptoms: importance of routine monitoring and early therapeutic intervention.	Clin Exp Dermatol. 2025 Jan 27;50(2):399-403.	Original Article
204	Tasaki M, Saito K, Ikeda M, et al	泌尿器科	C1q-Fixing De Novo Donor Specific Antibodies in Therapeutic Management of Chronic Antibody- Mediated Rejection Postkidney Transplantation.	Transplant Proc. 2024 Nov;56(9):1961-1966.	Original Article
205	Ikeda M, Tasaki M, Hashiguchi H, et al	泌尿器科	A Case of ABO- Incompatible Kidney Transplantation for a False-Positive T and B-Cell Crossmatch Test Due to Anti-A Antibodies.	Transplant Proc. 2025 Apr;57(3):438-441.	Case Report
206	Hiruma K, Bilim V, Kazama A, et al	泌尿器科	Acidic Microenvironment Enhances Cisplatin Resistance in Bladder Cancer via Bcl-2 and XIAP.	Curr Issues Mol Biol. 2025 Jan 10;47(1):43. (オンライ ン)	Original Article

207	Hoshino S, Obara K, Yamana K, et al	泌尿器科	Perianal Abscess Caused by Urethral Foreign Body: A Case Report.	IJU Case Rep. 2025 Mar 13;8(3):249-252. (オンライン)	Original Article
208	Kazama A, Munoz- Lopez C, Lewis K, et al	泌尿器科	Prolonged ischaemia during partial nephrectomy: impact of warm vs cold.	BJU Int. 2025 Apr;135(4):611-620.	Original Article
209	Ishizaki F, Taguchi T, Murata M, et al	泌尿器科	Long-term outcomes and prognostic factors of metastatic or recurrent pheochromocytoma and paraganglioma: a 20-year review in a single institution.	Sci Rep. 2024 Nov 2;14(1):26456. (オンライン)	Original Article
210	Kazama A, Munoz- Lopez C, Attawettayan on W, et al	泌尿器科	Parenchymal obliteration by renal masses: Functional and oncologic implications.	Urol Oncol. 2024 Aug;42(8):247.e11- 247.e19.	Original Article
211	Anraku T, Murata M, Kuroki H, et al	泌尿器科	Selective HDAC6 Inhibition Has the Potential for Anti- Cancer Effect in Renal Cell Carcinoma.	J Pers Med. 2024 Jun 30;14(7):704. (オンライン)	Original Article

212	Ishida K, Ogose A, Kawaguchi G, et al	泌尿器科	Bladder Cancer Invading the Prostate and Penis and Multiple Bone Metastases Showing Significant Improvement after a Short-Term Pembrolizumab Therapy following Radiation and Gemcitabine and Cisplatin Therapy Leading to a Pathologically Complete Remission.	Case Rep Urol. 2024 May 27;2024:7525757. (オン ライン)	Case Report
213	Ishida K, Hasegawa G, Takada T, et al	泌尿器科	KL-6 Mucin as Serum Tumor Marker of Metastatic Renal Cancer: A Case Report.	Case Rep Urol. 2024 Sep 27;2024:6648459. (オン ライン)	Case Report
214	Nishiyama H, Ito K, Hasegawa G, et al	泌尿器科	Laparoscopic partial cystectomy using stapling system for inflammatory myofibroblastic tumor of urinary bladder: A case report.	SAGE Open Med Case Rep. 2025 Feb 25;13:2050313X25132378. (オンライン)	Case Report
215	Nishiyama H, Tominaga M, Ito K, et al	泌尿器科	Is it possible to diagnose mixed epithelial and stromal tumor of kidney prior to surgery? A case report.	SAGE Open Med Case Rep. 2024 Dec 19;12:2050313X24130868 8. (オンライン)	Case Report
216	Ueki S, Suzuki Y	眼科	New Perspective on Aqueous Humor Circulation: Retina Takes the Lead.	Int J Mol Sci. 2025 Mar 14;26(6):2645. (オン ライン)	Original Article

217	Nakano R, Igarashi R, Akagi T, et al	眼科	Correlation between contrast sensitivity and national eye institute visual function questionnaire (NEI VFQ-25) Rasch scores in patients with open-angle glaucoma: A cross-sectional study.	BMC Ophthalmol. 2025 Feb 25;25(1):95. (オンライン)	Original Article
218	Sato T, Akagi T, Kobayashi D, et al	眼科	Relationships of the Duration from Onset and Macular Morphology with Metamorphopsia After Surgery for Macula-Off Rhegmatogenous Retinal Detachment.	Clin Ophthalmol. 2025 Mar 30;19:1119-1128. (オンライン)	Original Article
219	Arimatsu M, Akagi T, Suetake A, et al	眼科	Intrascleral intraocular lens fixation with ab interno trabeculotomy in patients with exfoliation glaucoma with lens subluxation.	Jpn J Ophthalmol. 2024 May;68(3):200-205.	Original Article
220	Ando T, Terashima H, Kobayashi N	眼科	Coughing-induced Ocular Content Extrusion through a Perforating Corneal Injury.	Ophthalmol Retina. 2025 Feb;9(2):e15.	Original Article
221	Ichimura M, Ueki S, Fukuchi T	眼科	Test-Retest of the Spot Vision Screener among Children with Ophthalmological Diseases including Strabismus.	J Ophthalmol. 2024 May 6;2024:2173860. (オンライン)	Original Article
222	Tanaka R, Ueki Y, Ohshima S, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Safety and efficacy of neoadjuvant chemotherapy with paclitaxel, carboplatin, and cetuximab for locally advanced head and neck squamous cell carcinoma.	Int J Clin Oncol. 2024 Aug;29(8):1133-1141.	Original Article

223	Ohno Y, Takahashi T, Kai R, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Spontaneous mediastinal hematoma associated with parathyroid adenoma.	Eur Ann Otorhinolaryngol Head Neck Dis. 2024 Oct 15;S1879-7296(24)00101- 7.	Letter
224	Yagi C, Kimura A, Ishida K, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Clinical features of persistent postural- perceptual dizziness coexisting with Meniere's disease in comparison with Meniere's disease alone.	Front Neurol. 2024 Jul 31;15:1425647. (オンライ ン)	Original Article
225	Yagi C, Kimura A, Kai R, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Long-term outcomes of pharmacotherapy in patients with persistent postural- perceptual dizziness.	Front Neurol. 2025 Mar 19;16:1566898. (オンライ ン)	Original Article
226	Omata J, Ueki Y, Takahashi Y, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	In Response to Treatment Outcome in Head and Neck Cancer with Distant Metastasis at Initial Diagnosis.	Laryngoscope. 2024 Sep;134(9):E30.	Letter
227	Ueda H, Ishiguro T, Mori Y, et al	産科婦人科	Glycolysis-mTORC1 crosstalk drives proliferation of patient-derived endometrial cancer spheroid cells with ALDH activity.	Cell Death Discov. 2024 Oct 11;10(1):435. (オンラ イン)	Original Article
228	Mori Y, Okimoto Y, Sakai H, et al	産科婦人科	Targeting PDGF signaling of cancer- associated fibroblasts blocks feedback activation of HIF-1 α and tumor progression of clear cell ovarian cancer.	Cell Rep Med. 2024 May 21;5(5):101532.	Original Article

229	Kudo R, Matsumoto K, Ishiguro T, et al	産科婦人科	Appendiceal cancer in pregnancy and circulating tumor cells detection in the umbilical cord.	Heliyon. 2025 Feb 1;11(3):e42411. (オンライン)	Case Report
230	Oyanagi K, Horii Y, Ishikawa H, et al	放射線治療科・診断科	A case of small intestinal fixation failure.	BJR Case Rep. 2024 Nov 27;10(6):uaae046. (オンライン)	Case Report
231	Yamazaki M, Watanabe S, Tominaga M, et al	放射線治療科・診断科	Authors' Response: FDG-PET/CT in Lung: Beyond Cancer.	Acad Radiol. 2025 Feb;32(2):1156.	Letter
232	Kondo T, Okamoto M, Kondo Y	放射線治療科・診断科	Pilot Study on Using Large Language Models for Educational Resource Development in Japanese Radiological Technologist Exams.	Med Sci Educ. 2025 Jan 18;35(2):919-927. (オンライン)	Original Article
233	Yamazaki M, Watanabe S, Tominaga M, et al	放射線治療科・診断科	(18)F-FDG-PET/CT Uptake by Noncancerous Lung as a Predictor of Interstitial Lung Disease Induced by Immune Checkpoint Inhibitors.	Acad Radiol. 2025 Feb;32(2):1026-1035.	Original Article
234	Hirata T, Yoshimura N, Yagi T, et al	放射線治療科・診断科	Association between pre-treatment computed tomography findings and post-treatment persistent decrease in lung perfusion blood volume.	Sci Rep. 2024 May 24;14(1):11919. (オンライン)	Original Article

235	Saito M, Saito T	放射線治療科・診断科	A simple algorithm to derive virtual non-contrast electron density from dual-energy computed tomography data for radiotherapy treatment planning.	Med Phys. 2025 May;52(5):3107-3116.	Original Article
236	Takizawa T, Tanabe S, Nakano H, et al	放射線治療科・診断科	Selection criteria for circular collimator- vs. Multileaf collimator-based plans in robotic stereotactic radiotherapy for brain metastases and benign intracranial disease: Impact of target size, shape complexity, and proximity to at-risk organs.	Phys Med. 2024 Nov;127:104852.	Original Article
237	Ichikawa S, Ozaki M, Itadani H, et al	放射線治療科・診断科	Deep learning-based correction for time truncation in cerebral computed tomography perfusion.	Radiol Phys Technol. 2024 Sep;17(3):666-678.	Original Article
238	Yamamoto T, Yamada T, Seino Y, et al	麻酔科	Agitated saline test as a simple but reliable method of intraoperative diagnosis and evaluation of unroofed coronary sinus.	JA Clin Rep. 2024 Apr 25;10(1):28. (オンライン)	Letter
239	Kurita S, Sasaki M, Tanaka M, et al	麻酔科	Analgesic effects of oral Yokukansan on acute postoperative pain and involvement of the serotonin nervous system: a mouse model study.	BMC Complement Med Ther. 2024 May 21;24(1):198. (オンライン)	Original Article

240	Yamamoto T, Nomura S, Makino T	麻醉科	Epidural analgesia using morphine alone without local anaesthetics in posterior spinal fusion surgery in aA?patient with peripheral neuropathy.	Anaesthesiol Intensive Ther. 2025 Apr 10;57(1):42-45.	Letter
241	Baba H, Ohashi N	麻醉科	Visualization of primary afferent-evoked excitation of spinal dorsal horn neurons using an intracellular Ca(2+) imaging technique in adult rat spinal cord slices.	J Anesth. 2025 Apr;39(2):231-247.	Original Article
242	Yamamoto T	麻醉科	Postoperative pain management with opioid-only epidural analgesia for upper extremity surgery in a patient with chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy.	Anaesthesiol Intensive Ther. 2024;56(3):208-211.	Letter
243	Ohashi N, Ohashi M, Hoshino R, et al	麻醉科	Ivabradine reduces neuropathic pain after spinal cord injury by inhibiting excitatory synaptic transmission in the spinal dorsal horn.	Neurosci Lett. 2025 Feb 6;848:138113.	Original Article
244	Yamamoto T, Ohashi N, Mishima T, et al	麻醉科	Evaluation of the Spread and Effect of Local Anesthetic Administered Using Thoracic Muscle Plane Block on Internal Thoracic Artery Grafts.	J Cardiothorac Vasc Anesth. 2025 Mar 20:S1053-0770(25)00248-4.	Original Article
245	Yamamoto T, Mikus M	麻醉科	Anatomical landmark-guided compartment block in pediatric lateral thoracotomy: implications for the vertebral arch surface.	JA Clin Rep. 2024 Oct 28;10(1):68. (オンライン)	Letter

246	Hoshino R, Ohashi N, Uta D, et al	麻酔科	Actions of remimazolam on inhibitory transmission of rat spinal dorsal horn neurons.	J Pharmacol Sci. 2024 Jun;155(2):63-73.	Original Article
247	Zheng Z, Saito D, Hasebe D, et al	口腔再建外科	Three-dimensional evaluation of maxillofacial symmetry improvement following orthognathic surgery in patients with asymmetrical jaw deformities.	Oral Maxillofac Surg. 2024 Nov 7;29(1):8. (オンライン)	Original Article
248	Naito E, Igawa K, Takada S, et al	口腔再建外科	The effects of carbon-ion beam irradiation on three- dimensional in vitro models of normal oral mucosa and oral cancer: development of a novel tool to evaluate cancer therapy.	In Vitro Cell Dev Biol Anim. 2024 Dec;60(10):1184-1199.	Original Article
249	Aizawa Y, Haga K, Yoshiba N, et al	口腔再建外科	Development and Characterization of a Three-Dimensional Organotypic In Vitro Oral Cancer Model with Four Co- Cultured Cell Types, Including Patient- Derived Cancer- Associated	Biomedicines. 2024 Oct 17;12(10):2373. (オンライン)	Original Article
250	Kobayashi R, Hirai H, Maruyama S, et al	顎顔面口腔外科	Oral Focal Mucinosi of the Tongue: Case Report and Review of the Literature.	Cureus. 2024 Aug 26;16(8):e67882. (オンライン)	Case Report
251	Yoshida K, Kiyomi A, Kurokawa A, et al	顎顔面口腔外科	Association between salivary inflammatory mediators and oral mucositis in patients with cancer undergoing chemotherapy.	Support Care Cancer. 2024 Sep 2;32(9):625. (オンライン)	Original Article

252	Hirai H, Kinoshita N, Nishii N, et al	顎顔面口腔外科	Treatment strategies for patients over 80 years of age with oral squamous cell carcinoma.	Surg Oncol. 2024 Dec;57:102146.	Original Article
253	Nikkuni Y, Nishiyama H, Hayashi T	歯科放射線科	Prediction of Histological Grade of Oral Squamous Cell Carcinoma Using Machine Learning Models Applied to (18)F-FDG-PET Radiomics.	Biomedicines. 2024 Jun 25;12(7):1411. (オンライン)	Original Article
254	Yamamoto T, Inoue T, Kishimoto N, et al	歯科麻酔科	Safety and efficacy of remimazolam in sedation dentistry: a scoping review.	J Dent Anesth Pain Med. 2025 Feb;25(1):15-22.	Original Article
255	Imai Y, Yamamoto T, Kishimoto N, et al	歯科麻酔科	Perioperative management of a patient with hereditary angioedema undergoing oral surgery.	J Dent Anesth Pain Med. 2024 Aug;24(4):301-303.	Original Article
256	Kishimoto N, Yamamoto T, Tran SD, et al	歯科麻酔科	Screen-based telesimulation training for medical emergencies in dental clinics.	J Dent Anesth Pain Med. 2024 Dec;24(6):427-430.	Original Article
257	Ujita T, Yamamoto T, Sato-Yamada Y, et al	歯科麻酔科	Optical Imaging of Trigeminal Ganglion Excitation Evoked by Electrical Stimulation of the Trigeminal Nerve.	Cureus. 2024 Dec 11;16(12):e75522. (オンライン)	Original Article

258	Yamamoto T, Yoshida M, Koyama Y, et al	歯科麻酔科	Early prevention of carrageenan-induced peripheral/spinal inflammation suppresses microglial hyperreactivity in the trigeminal spinal subnucleus caudalis and alleviates chronic facial nociception.	Heliyon. 2025 Jan 7;11(2):e41602. (オンライン)	Original Article
259	Li C, Yamamoto T, Kanemaru H, et al	歯科麻酔科	Effects of Sphingosine-1-Phosphate on the Facilitation of Peripheral Nerve Regeneration.	Cureus. 2024 Nov 15;16(11):e73784. (オンライン)	Original Article
260	Sawada E, Yamamoto T, Kishimoto N, et al	歯科麻酔科	Creating Alternative Afferent Input to Facilitate the Regeneration of Injured Primary Afferent Neurons.	Cureus. 2025 Feb 7;17(2):e78708. (オンライン)	Original Article
261	Ujita T, Yamamoto T, Tanaka Y, et al	歯科麻酔科	Airway evaluation and management in a patient with a tracheal tumor undergoing oral and neck reconstructive surgery.	J Dent Anesth Pain Med. 2025 Apr;25(2):139-142.	Original Article
262	Hozawa M, Nakamura Y, Sotome T, et al	小児歯科・障がい者歯科	Evaluation of oral function using a composite sensor during maximum lip closure and swallowing in normal children and adults.	J Oral Rehabil. 2024 Aug;51(8):1349-1356.	Original Article

263	Nakamura Y, Nogami Y, Iwase Y, et al	小児歯科・障がい者歯科	Dental caries prevalence in children during temporary protective care according to type of abuse.	BMC Public Health. 2024 May 18;24(1):1345. (オンライン)	Original Article
264	Takemoto R, Kobayashi J, Oomori Y, et al	矯正歯科	Fabrication of Apparatus Specialized for Measuring the Elasticity of Perioral Tissues.	Materials (Basel). 2024 Jul 24;17(15):3654. (オンライン)	Original Article
265	Mimura S, Kurihara- Okawa K, Fukamachi N, et al	矯正歯科	Characteristics of masticatory behavior of patients with mandibular prognathism.	Maxillofac Plast Reconstr Surg. 2025 Mar 4;47(1):5. (オンライン)	Original Article
266	Nagasaki T, Kurihara- Okawa K, Okawa J, et al	矯正歯科	Tongue pressure and maxillofacial muscle activities during swallowing in patients with mandibular prognathism.	J Oral Rehabil. 2024 Aug;51(8):1413-1421.	Original Article
267	Thwin KM, Ogawa H, Phantumvanit P, et al	予防歯科	Oral health-related quality of life in the Myanmar population: The first national oral health survey 2016 – 2017.	Community Dent Health. 2024 Aug 30;41(3):158-163. (オンライン)	Original Article
268	Thwin KM, Lin WT, Kaneko N, et al	予防歯科	Impact of the COVID-19 Pandemic on Oral Health Perception, Hygiene Behaviors, and Oral Health-Related Quality of Life in Myanmar.	J Int Soc Prev Community Dent. 2024 Dec 27;14(6):479-488. (オンライン)	Original Article

269	Ramadhani A, Tanaka A, Minagawa K, et al	予防歯科	Exploring the Changes in Mild Cognitive Impairment Blood-Based Biomarkers after Local Antibiotic Periodontal Treatment in Diabetic Patients: Secondary Analysis of Data from a Randomized Controlled Trial.	Eur J Dent. 2024 Dec 30.	Original Article
270	Chairunisa F, Ramadhani A, Takehara S, et al	予防歯科	Oral Health Status and Oral Healthcare System in Indonesia: A Narrative Review.	J Int Soc Prev Community Dent. 2024 Oct 29;14(5):352-364. (オンライン)	Original Article
271	Thwin KM, Takehara S, Lin WT, et al	予防歯科	Interactive Effects of COVID-19 Infection and Psychological Factors on Oral Health-Related Quality of Life in Myanmar.	J Oral Rehabil. 2025 Jun;52(6):775-782.	Original Article
272	Tassanapong N, Valenzuela Torres O, Myat Thwin K, et al	予防歯科	Psychosocial Determinants of Oral Health Related to COVID-19 Infection in Myanmar Older Adults.	Asia Pac J Public Health. 2025 Jan;37(1):69-77.	Original Article
273	Chairunisa F, Widita E, Thwin KM, et al	予防歯科	Ten years' evaluation of periodontal status and its changes among Japanese older adults.	Spec Care Dentist. 2024 Nov-Dec;44(6):1731- 1741.	Original Article

274	Ichikawa Y, Kaneko N, Thwin KM, et al	予防歯科	Low Salivary IgA Levels Against PAC (361–386) as a Risk Factor for Root Caries in Older Adults.	Clin Exp Dent Res. 2024 Aug;10(4):e945.	Original Article
275	Takehara S, Karawekpany awong R, Okubo H, et al	予防歯科	The 8020 Campaign in Japan: A Policy Analysis.	Asia Pac J Public Health. 2025 Jan;37(1):116–125.	Original Article
276	Takehara S, Ueno M, Yoshihara A, et al	予防歯科	Weight Loss and Number of Present Teeth in Community- Dwelling Japanese Older Adults: A Cross-Sectional Study in Niigata.	J Oral Rehabil. 2025 Feb;52(2):169–180.	Original Article
277	Yan C, Nakajima M, Ikeda- Imafuku M, et al	歯周病科	Choline and geranate ionic liquid for subgingival biofilm control.	Int J Pharm. 2024 Sep 5;662:124544.	Original Article
278	Lyu H, Sugita N, Komatsu S, et al	歯周病科	UCP2 polymorphisms, daily step count, and number of teeth associated with all- cause mortality risk in Sado City: A hospital-based cohort study.	Heliyon. 2024 Jun 8;10(12):e32512. (オンライ ン)	Original Article
279	Nakajima M, Kapate N, Clegg JR, et al	歯周病科	Backpack-carrying macrophage immunotherapy for periodontitis.	J Control Release. 2025 Jan 10;377:315–323.	Original Article

280	Takizawa F, Domon H, Hirayama S, et al	歯周病科	Effective degradation of various bacterial toxins using ozone ultrafine bubble water.	PLoS One. 2024 Jul 10;19(7):e0306998. (オンライン)	Original Article
281	Yamada-Hara M, Takahashi N, Byun JW, et al	歯周病科	In Vivo Bioluminescence Imaging of Tumor Progression in the Lewis Lung Carcinoma Orthotopic Mouse Model: A Comparison Between the Tail Vein Injection and Intranasal Instillation Methods.	Curr Protoc. 2024 Dec;4(12):e70071.	Original Article
282	Motosugi S, Takahashi N, Mineo S, et al	歯周病科	Enrichment of Porphyromonas gingivalis in colonic mucosa-associated microbiota and its enhanced adhesion to epithelium in colorectal carcinogenesis: Insights from in vivo and clinical studies.	PLoS One. 2025 Mar 25;20(3):e0320383. (オンライン)	Original Article
283	Minato Y, Aoki-Nonaka Y, Lwin HY, et al	歯周病科	Allyl isothiocyanate suppressed periodontal tissue destruction in mice via bacteriostatic and anti-inflammatory activities against Porphyromonas gingivalis.	Arch Oral Biol. 2025 Jan;169:106118.	Original Article
284	Kornsombut N, Takenaka S, Manuschai J, et al	歯の診療科	Effects of Tooth Desensitizers on Streptococcus mutans Biofilm Formation Using a Modified Robbins Device Flow Cell System.	Int J Mol Sci. 2024 Oct 4;25(19):10703. (オンライン)	Original Article

285	Manuschai J, Sotozono M, Takenaka S, et al	歯の診療科	In Vitro Inhibitory Effect of Silver Diamine Fluoride Combined with Potassium Iodide against Mixed- Species Biofilm Formation on Human Root Dentin.	Antibiotics (Basel). 2024 Aug 7;13(8):743. (オンライン)	Original Article
286	Takahara S, Edanami N, Ibn Belal RS, et al	歯の診療科	An Evaluation of the Biocompatibility and Chemical Properties of Two Bioceramic Root Canal Sealers in a Sealer Extrusion Model of Rat Molars.	J Funct Biomater. 2025 Jan 4;16(1):14. (オンライン)	Original Article
287	Saito R, Domon H, Hiyoshi T, et al	歯の診療科	A novel 12- membered ring non- antibiotic macrolide EM982 attenuates cytokine production by inhibiting IKK12 and IloBI± phosphorylation.	J Biol Chem. 2024 Jun;300(6):107384.	Original Article
288	Ono Y, Kaku M, Thant L, et al	冠・ブリッジ診療科	Wnt/12-catenin Promotes Cementum Apposition in Periodontal Regeneration.	J Dent Res. 2025 Feb;104(2):183-192.	Original Article
289	Akiba Y, Takaoka Y, Eguchi K, et al	冠・ブリッジ診療科	Metal allergy as a persistent factor for psoriasis.	J Prosthodont Res. 2025 Jan 3.	Original Article
290	Nguyen Van Q, Akiba Y, Eguchi K, et al	冠・ブリッジ診療科	Controlling redox state by edaravone at transplantation site enhances bone regeneration.	Biomed Pharmacother. 2024 Aug;177:117032.	Original Article

291	Thu Ya M, Hasegawa Y, Sta Maria MT, et al	義歯診療科	Predicting cognitive function changes from oral health status: a longitudinal cohort study.	Sci Rep. 2024 Oct 15;14(1):24153. (オンライン)	Original Article
292	Yoshimoto T, Hasegawa Y, Mya Khaing AM, et al	義歯診療科	Effects of the shortened dental arch on oral function in older adults: A prospective cohort study.	Heliyon. 2024 Dec 6;10(24):e40897. (オンライン)	Original Article
293	Sato R, Kodama S, Okawa J, et al	義歯診療科	Tongue and jaw movement assessed by 3D motion capture during gum chewing.	Front Physiol. 2024 Aug 28;15:1409005. (オンライン)	Original Article
294	Hasegawa Y	義歯診療科	Clinical Guiding Principles for Denture Relining and Rebasing released in Japan.	J Prosthodont Res. 2024;68(4):vi-viii.	Original Article
295	Ujishashi T, Hori K, Izuno H, et al	義歯診療科	The Association of Walking Ability with Oral Function and Masticatory Behaviors in Community-Dwelling Older People: A Cross-Sectional Study.	Geriatrics (Basel). 2024 Oct 9;9(5):131. (オンライン)	Original Article
296	Nagoya K, Tsujimura T, Yoshihara M, et al	口腔リハビリテーション科	Physiological analyses of swallowing changes due to chronic obstructive pulmonary disease in anesthetized male rats.	Front Physiol. 2024 Aug 7;15:1445336. (オンライン)	Original Article

297	Tsutsui Y, Chotirungsan T, Pan CR, et al	口腔リハビリテーション科	The central neural control of the posterior belly of the digastric muscles during swallowing in rats.	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 2025 Mar 1;328(3):G277-G288.	Original Article
298	Goto R, Ochiai Y, Takei E, et al	口腔リハビリテーション科	Impact of salivary flow inhibition on masticatory behaviours in healthy individuals.	J Oral Rehabil. 2024 Sep;51(9):1759-1769.	Original Article
299	Saka N, Chotirungsan T, Yoshihara M, et al	口腔リハビリテーション科	Functional involvement of the sternohyoid muscle during breathing and swallowing in rats.	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 2024 Oct 1;327(4):G598-G607.	Original Article
300	Hino H, Suzuki T, Maekawa K, et al	口腔リハビリテーション科	Effect of bolus property on swallowing dynamics in patients with dysphagia.	J Oral Rehabil. 2024 Aug;51(8):1422-1432.	Original Article
301	Iwamori H, Magara J, Onuki W, et al	口腔リハビリテーション科	Effect of carbonation and thickening on voluntary swallow in healthy humans.	J Oral Rehabil. 2024 Oct;51(10):2043-2051.	Original Article
302	AbÃ© T, Yamazaki M, Nozumi M, et al	歯科病理	Ladinin-1 in actin arcs of oral squamous cell carcinoma is involved in cell migration and epithelial phenotype.	Sci Rep. 2024 Oct 1;14(1):22778. (オンライン)	Original Article

303	Yoshizaki Y, Kato K, Fujihara K, et al	医療情報部	Development of a machine learning tool to predict the risk of incident chronic kidney disease using health examination data.	Front Public Health. 2024 Nov 1;12:1495054. (オンラ イン)	Original Article
304	Ferreira ED, Hatta M, Laymon K, et al	血液・内分泌・代謝内科	Higher dietary protein/energy ratio is associated with a lower risk for obesity in older women with type 2 diabetes: Cross-sectional analysis of Japanese patients with type 2 diabetes mellitus (JDDM75)	HUM NUTR METAB.2024 JUN:36:7	Original Article
305	Suzuki H, Watanabe K, Arumugam S, et al	血液・内分泌・代謝内科	Lactic acid- fermented Sake lees protect against nonalcoholic steatohepatitis in mice	FUNCT FOODS HEALTH D.2024 MAY:14(5):12	Original Article
306	Narita I, Tsubakihara Y, Takahashi N, et al	腎・膠原病内科	Long-term efficacy and safety of difelikefalin in moderate-to-severe pruritus in Japanese hemodialysis patients: a 52-week open-label extension period of a phase 3 trial	RENAL REPLACE THER.2024 JUL:10(1):13	Original Article
307	Kitabayashi K, Yamamoto S, Katano Y, et al	腎・膠原病内科	The combined effect of leucine-enriched essential amino acid supplements and locomotion training on physical functions and quality of life in hemodialysis patients	RENAL REPLACE THER.2024 JUN:10(1):9	Original Article
308	Nozaki K, Watanabe S, Yamazaki R, et al	呼吸器・感染症内科	Definitive chemoradiotherapy with Carboplatin Plus Paclitaxel for Unresectable Locally Advanced Thymic Carcinoma: A case series	CURR PROB CANCER-C R.2024 DEC:16:6	Original Article

309	Ishihara T, Tada M, Kanemitsu Y, et al	脳神経内科	L-arginine in patients with spinocerebellar ataxia type 6: a multicentre, randomised, double- blind, placebo- controlled, phase 2 trial	ECLINICALMEDICINE.20 24 DEC:78:11	Original Article
310	Kawachi I	脳神経内科	Autoimmunity to glutamate receptor channels	NEUROL CLIN NEUROSCI.2024 MAY:12(3):8	Review
311	Sato M, Kawai K, Yamada A	皮膚科	Postoperative pyoderma gangrenosum in a patient undergoing long-term nivolumab therapy	J CUTAN IMMUNOL ALL.2024 NOV:7:3	Letter
312	Sato M, Kawai K, Hoshina Y, et al	皮膚科	Oral lichen planus with low-titer autoantibodies to BP180 and desmoglein 3	J CUTAN IMMUNOL ALL.2024 OCT:7:3	Letter
313	Zheng ZY, Takeuchi R, Suda D, et al	口腔再建外科	Dentoalveolar distraction osteogenesis combined with surgical orthodontic treatment for a patient with jaw deformity and ankylosed maxillary canine – A case report	J ORAL MAX SURG MED.2025 JAN:37(1):5	Original Article

314	Maung MM, Hasebe D, Kasahara M, et al	口腔再建外科	Stability after maxillary setback by horseshoe Le Fort I osteotomy in skeletal class II cases	J ORAL MAX SURG MED.2025 JAN:37(1):6	Original Article
315	Kurihara- Okawa K, Okawa J, Nihara J, et al	矯正歯科	Tongue pressure production and orofacial muscle activities during swallowing are related to palatal morphology in individuals with normal occlusion	CLIN INVEST ORTHODON.2024 APR:83(2):9	Original Article
316	Aizawa C, Takei E, Magara J, et al	口腔リハビリテーション科	Enhancing swallowing initiation: The facilitatory role of crystalline oil and fat	J FUNCT FOODS.2024 OCT:121:5	Original Article
317	Yoshida K, Kodama Y, Kiyomi A, et al	薬剤部	Effect of Yokukansan on preoperative anxiety and postoperative pain in mandibular third molar extraction: A pilot study	ORAL SCI INT.2024 MAY:21(2):7	Original Article
318	Akimori T, Yamazaki M, Abe T, et al	歯科病理	Searching for new early detection markers of oral epithelial dysplasia and oral squamous cell carcinoma using oral liquid-based cytology	J ORAL MAX SURG MED.2024 JUL:36(4):8	Original Article

計318件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	荻根沢 真也, 安藤 昭一郎, 木下 悠紀子 他	脳神経内科	病巣と同側性に hemichorea- hemiballismを来した 脳出血の2例	脳卒中;2024.09:46:386- 391	Original Article
2	高山 奈々	精神科	場面緘黙を呈する女 児との心理面接 スク イグルを介して	新潟青陵大学大学院臨床 心理学研究;2024.09:27- 31	Original Article
3	金子 昌弘,稲 葉 聡,山田 剛史	小児科	尿細管間質性腎炎に おける発見契機別腎 予後の検討	日本小児腎臓病学会雑 誌;2024.:37:103-109	Original Article
4	大池 直樹,生 越 章,大塚 寛 他	整形外科	これからの生物学的 再建 術中体外照射 骨を用いた骨再建の 長期成績	日本整形外科学会雑 誌;2024.10:98:795-799	Original Article
5	佐藤 雅之,大 橋 正幸,渡辺 慶 他	整形外科	思春期特発性側彎症 非手術例の中年期以 降における脊柱アラ イメントと柔軟性の変 化	Journal of Spine Research;2024.11:15:1321 -1327	Original Article
6	塚本 佳広,棗 田 学,大石 誠 他	脳神経外科	悪性神経膠腫におけ る精密3D手術シミュ レーションの有用性と その成績	CI研究;2024.06:46:9-19	Original Article
7	佐藤 もも,結 城 明彦,武居 いづみ 他	皮膚科	原発巣の自然消退後 に多発転移を来した Merkel cell carcinoma の1例	Skin Cancer;2024.10:39:174- 179	Original Article
8	笹川 ゆい,山 崎 恵介,植木 雄志 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	甲状腺乳頭癌を合併 した甲状腺原発粘表 皮癌の1例	日本内分泌外科学会雑 誌;2024.09:41:198-203	Original Article

9	泉 修司,北澤 明子,甲斐 竜 太 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	新潟市における補聴 器試聴例の購入・返 却にかかわる要因の 検討	日本耳鼻咽喉科頭頸部外 科学会会 報;2024.09:127:982-986	Original Article
10	小林 暁子,西 野 幸治,谷地 田 希 他	産科婦人科	NILM判定後1年半で 子宮頸癌IIB期となっ た骨盤臓器脱の一例	新潟産科婦人科学会会 誌;2024.09:119:7-10	Original Article
11	錦織 瑞彩,山 脇 芳,生野 寿史 他	産科婦人科	胎児発育不全症例に おける周産期予後予 測としてのsFlt- 1/PlGF比測定の有 用性の検討	日本周産期・新生児医学 会雑誌;2024.12:60:397- 402	Original Article
12	清水 大喜,馬 場 洋	麻酔科	帝王切開麻酔時の硬 膜外針による脊髄損 傷の1症例	麻酔;2024.08:73:552-556	Original Article
13	伊藤 加代子, 會田 英紀,有 友 たかね 他	口腔リハビリテーション科	わが国の歯科大学・ 大学歯学部における 老年歯科医学教育の 実態(2022年度)	老年歯科医 学;2024.09:39:E41-E61	Original Article
14	野村 みずき, 宮本 茜,田島 稜子 他	歯科総合診療科	器械結びにおける動 画の教育効果に関す る検討	日本総合歯科学会雑 誌;2024.10:16:29-38	Original Article
15	廣瀬 靖華,松 田 将門,星山 良樹 他	検査部	ラテックス凝集免疫比 濁法を原理とする3社 のフェリチン測定試薬 の性能評価	医療検査と自動 化;2024.11:49:513-522	Original Article
16	森田 祐貴,松 田 将門,星山 良樹 他	検査部	HbF異常高値が HPLC法によるHbA1c 測定に及ぼす測定干 渉の補正手順	日本臨床検査医学会 誌;2024.07:72:568-572	Original Article
17	出内 主基,山 川 敬一朗,三 島 世奈 他	高次救命災害治療センター	山岳・海難救助事案 における救助ヘリコプ ターの傷病者搬送プ ロトコル化による医療 機関直接搬送の効果 単施設後ろ向き観察 研究	日本救急医学会雑 誌;2025.02:36:35-42	Original Article
18	小林 玲	総合周産期母子医療セン ター	周産期の栄養と代謝 を考える:新生児の栄 養と代謝を考える プ ロバイオティクスが極 低出生体重児の腸内 環境に与える影響	周産期学シンポジウ ム;2024.:61-65	Original Article

19	角南 栄二,小杉 伸一,平野 謙一郎 他	魚沼地域医療教育センター	右乳房乳頭乳輪部に発生したBowen病の1例	日本臨床外科学会雑誌;2024.12:85:1651-1655	Original Article
20	大西 康史	魚沼地域医療教育センター	同名半盲を残した2名の脳卒中患者に対するICF脳卒中コアセット包括版を用いた生活評価	総合リハビリテーション;2024.09:52:973-979	Original Article
21	神田 達郎	魚沼地域医療教育センター	A型肝炎について	新潟県医師会報;2024.10:2-7	Review
22	渡部 雄一郎	魚沼地域医療教育センター	統合失調症の「失われた遺伝率」と「平均余命の差」に挑む	新潟県医師会報;2024.08:2-5	Review
23	横山 彩乃,樋口 麻衣,藤原 浩 他	魚沼地域医療教育センター	新生児期以降も上腹部に残存したAdnexal Polyp of Neonatal Skinの1例	皮膚科の臨床;2024.10:66:1511-1513	Original Article
24	本田 耕平	魚沼地域医療教育センター	増加するアレルギー性鼻炎の現状と対応	新潟県医師会報;2024.09:2-6	Review
25	中田 光,半田 知宏,坂上 拓郎 他	高度医療開発センター	中等・重症自己免疫性肺胞蛋白症に対するサルグラモスチム吸入試験の速報	日本呼吸器学会誌;2024.07:13:140-147	Original Article
26	岩崎 円,菰澤 紀文,穂苅 諭 他	医療技術部	Platypnea-orthodeoxia症候群の食道胃接合部癌症例に対する周術期リハビリテーション	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌;2024.04:32:251-256	Original Article
27	清野 健二,高山 亜美,菰澤 紀文 他	医療技術部	運動耐容能が良好であるにも関わらず低身体活動である心不全患者の特徴	理学療法新報;2024.07:27:21-26	Original Article
28	曾根 博仁	血液・内分泌・代謝内科	わが国の生活習慣病の予防・治療に関する栄養疫学的研究	日本栄養・食糧学会誌;2024.12:77:377-384	Review

29	曾根 博仁	血液・内分泌・代謝内科	日本のたんぱく質栄養～新知見と次世代への提案～ 糖尿病とタンパク摂取 合併症とフレイルの観点から	アミノ酸研究;2024.08:17:23-27	Review
30	山田 貴穂,柳生田 紀子,西島 浩二 他	血液・内分泌・代謝内科	妊娠糖尿病合併妊婦における産後糖代謝異常リスクの検討	糖尿病と妊娠;2024.08:24:S-103-S-106	Original Article
31	柳生田 紀子,山田 貴穂,西島 浩二 他	血液・内分泌・代謝内科	当院における周産期レジストリーを用いた妊娠糖尿病の転帰や予後の検討	糖尿病と妊娠;2024.08:24:S-100-S-102	Original Article
32	小川 和也,上村 顕也,石井 壮一 他	肝胆膵内科	症候性巨大肝嚢胞に対する嚢胞内洗浄併用の塩酸ミノサイクリン硬化療法が長期的効果を呈した1例	日本消化器病学会雑誌;2024.09:121:769-776	Original Article
33	小幡 泰生,岩井 俊文	消化器外科	HER2低発現乳癌の臨床病理学的特徴および予測因子の解明	新潟医学会雑誌;2024.04:138:119-128	Original Article
34	生沼 耕志,市川 寛,坂本 薫 他	乳腺・内分泌外科	食道癌dCRT後の胸部気管リンパ節転移再発に対して胸骨正中切開下救済手術を施行した1例	癌と化学療法;2024.12:51:1713-1715	Original Article
35	草間 昭宏,加納 陽介,市川 寛 他	乳腺・内分泌外科	食道癌に対して術前化学療法中に大動脈血栓症を発症した1例	癌と化学療法;2024.12:51:1428-1430	Original Article
36	中村 友春,島田 能史,大関 瑛 他	乳腺・内分泌外科	直腸癌の管腔内Implantationによる転移性痔瘻癌の1例	癌と化学療法;2024.12:51:1520-1522	Original Article
37	金子 大地,宗岡 悠介,市川 寛 他	乳腺・内分泌外科	術前DCF療法により病理学的完全奏効を得た胃壁内転移を伴う進行食道癌の1例	癌と化学療法;2024.12:51:1523-1525	Original Article
38	廣瀬 雄己,奥田 修二郎,島田 能史 他	乳腺・内分泌外科	大腸癌の全ゲノム解析およびターゲット遺伝子パネル検査に用いる選択的遺伝子解析に基づく変異シグネチャーの相関性	新潟医学会雑誌;2024.04:138:129-134	Original Article

39	廣瀬 朱音,武居 いづみ,中村 杏奈 他	皮膚科	【困ってしまう顔の皮疹】高齢男性の顔面に生じたエクリン汗腺血管過誤腫	皮膚病診療;2024.05:46:462-465	Original Article
40	飯川 龍,赤木忠道,梅野 哲哉 他	眼科	線維柱帯切除術周術期における抗菌薬使用および術野洗浄に関する多施設調査	日本眼科学会雑誌;2024.07:128:525-532	Original Article
41	佐々木 崇暢,若杉 亮,鎌田 悠志 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	好酸球性副鼻腔炎を併発した気管支喘息に対するdupilumab投与中に発症した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症例	日本鼻科学会会誌;2024.04:63:103-111	Original Article
42	高嶋 惇,佐々木 崇暢,若杉 亮 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	動眼神経麻痺と視力低下を生じた蝶形骨洞血瘤腫例	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報;2025.01:128:52-58	Original Article
43	出内 主基	救急科	脳死下臓器移植経験施設の施設特徴とその地域性の評価 多施設後ろ向き観察研究	日本救急医学会雑誌;2024.04:35:121-128	Original Article
44	須田 大亮,船山 昭典,新美 奏恵 他	口腔再建外科	下顎歯肉への転移を契機に診断に至った腭癌の1例	日本口腔腫瘍学会誌;2024.12:36:89-95	Original Article
45	齋藤 大輔,須田 大亮,竹内 涼子 他	口腔再建外科	著明な下顎隆起が発症一因と考えられた重症閉塞性睡眠時無呼吸症の1例	睡眠口腔医学;2024.09:11:19-23	Original Article
46	齋藤 夕子,黒川 亮,富原 圭	顎顔面口腔外科	口腔内多発血腫を契機に診断されたHelicobacter pylori感染に伴う急性型免疫性血小板減少症の1例	日本口腔内科学会雑誌;2024.12:30:59-64	Original Article
47	皆川 久美子,葭原 明弘,宮本 茜 他	予防歯科	腎機能と自己申告による現在歯数との関連(魚沼コホート調査ベースラインデータより)	口腔衛生学会雑誌;2024.04:74:125-134	Original Article

48	渡辺 真光,濃野 要,高 昇 将 他	予防歯科	地域在住後期高齢者の転倒予測因子としての残存歯数 1年間のコホート研究 (Number of remaining teeth as a predictor of prospective falls in Japanese community-dwelling late older population: a 1-year cohort study)	新潟歯学会雑誌;2024.07:54:9-19	Original Article
49	大倉 直人,Baldeon Gutierrez Rosa Edith, 高原 信太郎 他	歯の診療科	歯髄創傷治癒および歯髄再生過程におけるリン酸トランスポーター(Pit-1)の免疫組織学的解析	日本歯科保存学雑誌;2024.06:67:165-173	Original Article
50	青柳 裕仁,木村 龍弥,高 昇 将 他	冠・ブリッジ診療科	SDGsの達成を目標としたアルジネート印象材の開発	日本医用歯科機器学会雑誌;2024.05:29:49-53	Original Article
51	堀 一浩,村上 和裕,大川 純平 他	義歯診療科	口腔機能をスキャンする	新潟歯学会雑誌;2024.07:54:1-8	Review
52	相澤 知里,真柄 仁,板 離子 他	口腔リハビリテーション科	舌腫瘍術後の再建皮弁形態の変化に伴う摂食嚥下障害に対し舌接触補助床で対応した症例	新潟歯学会雑誌;2024.07:54:29-35	Original Article
53	Kanazawa T		[The Great Reset of Tohoku Branch].	Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi. 2024;80(12):I.	Original Article

計53件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 1. 新潟大学における人を対象とする研究等倫理審査委員会規程 2. 研究等倫理審査委員会に関する標準業務手順書 3. 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する標準業務手順書 4. 人を対象とする生命科学・医学系研究における人体から取得された試料及び情報等の提供及び保管に関する手順書 5. 人を対象とする生命科学・医学系研究における重篤な有害事象及び不具合等の報告・対応に関する標準業務手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
- 2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 1. 国立大学法人新潟大学利益相反マネジメント規程 2. 新潟大学利益相反マネジメント委員会人を対象とする医学系研究等利益相反マネジメント専門委員会細則 3. 新潟大学利益相反マネジメントガイドライン（人を対象とする医学系研究等）	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員	年12回

会の開催状況	
--------	--

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
・研修の主な内容 1. 令和6年度 研究倫理セミナー	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

新潟大学医歯学総合病院と県内多数の連携医療機関を循環するきわめて多彩な専門重点コースから選択ができる。また、連携医療機関とのネットワークが形成されているため、専門領域における一般的な疾患の十分な研修が可能である。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	医科83人、歯科0人
-------------	------------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
猪又 孝元	循環器内科	教授	37年	
曾根 博仁	内分泌・代謝内科	教授	36年	
曾根 博仁	血液内科	教授	36年	
山本 卓	腎・膠原病内科	教授	27年	
菊地 利明	呼吸器・感染症内科	教授	36年	
菊地 利明	心療内科	教授	36年	
寺井 崇二	消化器内科	教授	35年	
小野寺 理	脳神経内科	教授	39年	
周 啓亮	腫瘍内科	准教授	13年	
朴 秀賢	精神科	教授	27年	
齋藤 昭彦	小児科	教授	35年	
若井 俊文	消化器外科	教授	34年	
若井 俊文	乳腺・内分泌外科	教授	33年	
白石 修一	心臓血管外科	教授	28年	
小池 輝元	呼吸器外科	講師	24年	
川島 寛之	整形外科	教授	30年	
松田 健	形成・美容外科	教授	30年	
木下 義晶	小児外科	教授	33年	
大石 誠	脳神経外科	教授	28年	
阿部 理一郎	皮膚科	教授	32年	
齋藤 和英	泌尿器科	教授	38年	
赤木 忠道	眼科	准教授	27年	

堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸 部外科	教授	37年	
吉原 弘祐	産科婦人科	教授	23年	
石川 浩志	放射線治療科	教授	31年	
石川 浩志	放射線診断科	教授	31年	
馬場 洋	麻酔科	教授	38年	
西山 慶	救急科	教授	29年	
川島 寛之	リハビリテーシ ョン科	教授	30年	
大橋 璃子	病理診断科	准教授	24年	
上村 顕也	医科総合診療科	教授	24年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容、研修の期間・実施回数、研修の参加人数に関して

別添1 「2024年度RICCAキャリア開発支援研修実績」参照（対象研修：任意研修）

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容、研修の期間・実施回数、研修の参加人数に関して

別添1 「2024年度RICCAキャリア開発支援研修実績」参照（対象研修：基礎研修、ラダー別研修、役割研修、看護補助者研修等）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容、研修の期間・実施回数、研修の参加人数に関して

別添2「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況：令和6年度」を参照

(注)1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注)2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

2024年度RICCAキャリア開発支援研修

研修 区分	対象	ラダー能力	研修名	ねらい・内容	主催団体	リソース	参加人数	開催日	必須	任意	受講数	
基礎研修	1年目	看護実践能力	医療安全	医療安全管理Ⅰ	・安全管理マニュアルに沿った基本的看護技術を習得できる ・安全管理の視点から「患者確認行動」「指示受け方法」が理解できる	医療安全管理部	GRM	新入職者	4/2	●	78	
				医療安全管理Ⅱ	・インシデント事例を振り返るう～インシデントレポートの作成の意義と活用～	医療安全管理部	GRM	新人	8/30.9/13	●	69	
			感染管理	感染管理Ⅰ 感染防止の基礎技術	・院内感染対策基本マニュアルに沿った基本的な知識を学び、適切な感染予防行動をとることができる ・基本の手洗い、手指消毒の実際、PPEの着脱演習	感染管理部	感染管理CN	新入職者	4/3	●	78	
				看護過程	I 看護記録	・院内の看護記録の概要を理解できる 情報管理 記録のポイント	看護情報委員会	情報担当看護師長	新人	4/9	●	76
			Ⅱ 看護診断		・看護診断の基礎知識が理解できる 問題解決型記録 NANDA看護診断	看護情報委員会	看護情報委員会	新人	6/22	●	70	
			Ⅲ 看護記録		・看護記録を記載する目的が理解できる ・看護記録の基本とポイントが理解できる	コアセンター	コアセンター看護師長	新人	7/3.4.5.9.10.11.12.16.17	●	69	
			情報管理	①電子カルテ基礎編 ②電子カルテ実践編	・電子カルテの操作を実践できる His端末操作演習	経営企画担当 看護師長	医療情報部医師 経営企画担当看護師長	新入職者	4/9	●	76	
			必要度	重症度・医療・看護必要度	・重症度・医療看護必要度を理解し、入力することができる	業務担当副部長	業務担当副部長	新入職者	4/3	●	78	
			臨床実践	口腔ケア	・口腔ケアの目的が理解できる ・感染対策を意識した基本的な口腔ケアの技術が理解できる	歯科外来 コアセンター	歯科外来副看護師長	新人	5/15	●	70	
				I 褥瘡ケアの基礎	・院内における褥瘡管理について理解できる ・褥瘡発生要因、褥瘡発生防止について理解できる	看護褥瘡委員会	皮膚排泄ケアCN	新人	4/4	●	71	
				II 褥瘡ケアの活用	・患者体験を通して褥瘡予防法を理解できる	看護褥瘡委員会	皮膚排泄ケアCN	新人	5/24	●	70	
				糖尿病の基礎知識1.2	・糖尿病と治療について理解できる ・インスリン療法について理解できる ・低血糖と対処方法が理解できる ・インスリン指示票の見方、血糖測定とインスリン注射の基本が理解できる	糖尿病 ケアワーキング	慢性看護CNS 糖尿病療養士	新人	4/8	●	71	
				高齢者看護・せん妄	・高齢者の特徴を理解できる ・せん妄予防ケア、アセスメントが理解できる	精神科CN コアセンター	精神科CN	新人	4/26	●	71	
				臨床推論入門	・臨床推論の見方考え方を理解する	教育委員会	医学部総合診療学講座	新人	7/24	●	69	
				コミュニケーション	I 接遇	・医療者に必要な接遇の基本について理解できる	コアセンター	株）HUフロンティア	新入	4/5	●	71
					Ⅱ 基本コミュニケーションスキルの基本	・コミュニケーションスキルの基本を理解し、コミュニケーションエラーについて考えることができる	コアセンター	コミュニケーション部会	新人	4/25	●	71
			Ⅲ 基本コミュニケーションスキルの理解		・援助的なコミュニケーションスキルを理解することができる	コアセンター	コミュニケーション部会	新人	6/22	●	70	
			Ⅳ コミュニケーションスキルの活用		・コミュニケーションスキルを活用し、ケアの受け手やチームの医療関係者と関係性を築き適切な情報交換ができる	コアセンター	コミュニケーション部会	新人	10/22 10/29	●	69	
			臨床技術トレーニングプログラム	STEPⅠ 移動と移送の介助・点滴のある患者の寝衣交換	・安全・安楽に留意した車椅子・ベッドの移乗・移送について理解する ・点滴のある患者の寝衣交換について理解する	コアセンター	コアセンター	新人	4/9	●	71	
				STEPⅠ 採血	・シミュレーターを使用し、感染管理面・安全管理面に留意しながら正しい手順で採血ができる	コアセンター	部署トレーナー レベルⅣ	新人	4/15	●	71	
				STEPⅠ 酸素療法	・酸素ボンベの取り扱いが安全に実施できる ・アウトレットの使い方が分かる	コアセンター	コアセンター	新人	4/9	●	71	
				STEPⅡ 基本看護技術の応用～単純課題～	・STEPⅠや静脈注射の研修で習得した点滴管理技術などをベースに、患者設定を行い、グループディスカッションを踏まえて様々な気づきを得る ・基本看護技術を応用したシミュレーション研修を通して、患者の個性性を考慮した看護ケアを考える	コアセンター	部署教育担当者	新人 1日数名ずつ	7/3.4.5.9.10.11.12.16.17	●	69	
				STEPⅢ-① 多重課題	・STEPⅡの事例を発展させ多重課題事例を通し最適なケアの選択と実践を考える ・問題基盤型学習形式（PBL：Problem Based Learning）を一部取り入れた2日間のプログラムとし、第1日目ではグループディスカッションより課題を明確化し問題解決の手段を考え、第2日目ではグループディスカッションにより共通認識をもち、問題解決のプロセスを習得する	コアセンター	部署教育担当者	新人 1日数名ずつ	11/5、6 12/2.3.4.5.6.9.10.11.12	●	69 68	
				STEPⅢ-② 多重課題								
			静脈注射	I：点滴・注射の基礎知識	・静脈注射に関する基準・注射指示の見方・安全な点滴管理上の注意点を学ぶ	コアセンター	コアセンター 部署トレーナー レベルⅣ	新人	4/10	●	71	
				Ⅱ：薬剤調合 Ⅲ：点滴調整	Ⅱ：注射薬の準備と調合、6Rに沿った指差し呼称、プライミングの演習 Ⅲ：注射指示に基づき、点滴計算・点滴調整ができる			新人	4/10	●	71	
				Ⅳ：輸液ポンプ・シリンジポンプ	・輸液ポンプ・シリンジポンプの仕組みを理解し、安全に正しく操作できる	コアセンター	コアセンター 部署トレーナー レベルⅣ	新人	5/9	●	70	
				V：薬剤の基礎知識 Ⅵ：がん化学療法の看護	V：薬剤を取り扱う上で注意すべき薬剤とそのリスクについて理解できる Ⅵ：がん化学療法を受ける患者の看護の基礎を理解できる	V：薬剤部 Ⅵ：がん化学療法CN	V：薬剤副部長 Ⅵ：がん化学療法CN	新人	5/15	●	70	
				Ⅶ：静脈留置針による静脈穿刺	・静脈留置針の刺入の基準手順を理解し、安全・清潔に実施できる	コアセンター	コアセンター	新人	9/30.10/1.2.4.7.8.9.10.15.16.17	●	69	
			クリティカルケア看護	急変時の初動	・急変時の応援要請方法が分かる（気道確保はここに含める）	コアセンター	コアセンター	新人	4/26	●	71	
				容態変化対応コース基礎	・バイタルサインの正しい測定ができる ・問診・フィジカルイグザミネーションを用いて情報収集を行うことができる	容態変化部会 コアセンター	救急看護CN コアセンター	新人	5/15	●	70	
				容態変化対応コースⅠ	・急変または急変に結びつく可能性のある危険な徴候に気づき、行動を起こすことができる	容態変化部会	集中看護CN 救急看護CN コアセンター	新人	8/6.7	●	68	
				BLS	・BLS・AEDの使用知識技術を習得できる	救命救急処置研修 企画・専門部会	救命救急処置研修 企画・専門部会	新人	8/6.7	●	66	
			組織的 改善実行 能力	看護職の倫理	・看護職の倫理について理解する	看護部管理室	質担当副看護部長	新入職者	4/1	●	78	
				病院組織と看護部	・当院の理念の理解を促進し、組織の一員として活動することを促進する	看護部管理室	看護部長	新入職者	4/1	●	78	
			看護実践能力	労働安全衛生教育	・社会人としての健康的な生活について ～ストレス・コミュニケーション・睡眠について～	保健管理センタ-	臨床心理士	新人	4/5	●	71	
				メンタルヘルスクエ	・自己のメンタルヘルスに目を向けることができ、適切に対処できる方法を知ることができる	保健管理センタ-	臨床心理士	新人	4/26	●	71	
				看護師のための看護補助者研修	・看護職が看護補助者との協働推進のために必要な知識や考え方を理解し、現場での安全な業務実施のための役割分担や業務指示に活用することができる	看護部管理室	コアセンター	新人	4/9	●	71	
			自己教育 研究能力	臨床実践能力 セルフモニタリングプログラム	・事例を通して自己の観察ポイントと意図を言語化する ・グループメンバーやベテラン看護師の観察ポイントや観察意図について考える機会を得て点滴管理に必要な観察ポイントとその意図を習得する	コアセンター	コアセンター	新人 1日数名ずつ	7/3.4.5.9.10.11.12.16.17	●	69	
				新人編：Ⅰ	・入職時、看護職として「1年後の自分」「数年後の自分」を思い描き、その実現のために自分が、どのような目標を持ち、どのように行動するのかを同期の仲間と共に考えることができる。	コアセンター	コアセンター 看護師長	新人	4/4	●	71	
				新人編：Ⅱ					6/22	●	70	
				新人編：Ⅲ	・1年を通じて実践や出来事を振り返り、自己の成長を確認し、なりたい自分を描くことができる。				10/22、29	●	69	
				新人編：Ⅳ					3/6.7	●	67	
	2年目	看護実践能力	クリティカルケア看護 容態変化対応コースⅡ	・系統的アプローチによって危険な徴候を認識し、初期対応ができる	教育委員会 容態変化部会 コアセンター	集中看護CN 救急看護CN 部署トレーナー	2年目職員 3回開催	9/3.4	●	61		
			倫理Ⅰ	・日常の看護実践の中で倫理的問題に気づける ・eラーニング視聴とグループワーク	教育委員会	倫理研修部会	2年目職員 未受講者	12/10.16	●	62		
			感染管理Ⅱ	・院内レベルに応じた感染対策の基本的知識と技術を習得できる	感染管理部	感染管理CN	2年目職員 未受講者	8/20.21	●	62		
	自己教育 研究能力	ケースレポートⅠ	・根拠に基づいた看護実践を研究的視点をもって論理的に事例を記述する ①文献検索 ②論文検討会	研究支援委員会	研究支援委員会	2年目職員 未受講者	①7/8、15 ②1/8、20	●	61			

2024年度RICCAキャリア開発支援研修

研修区分	対象	リーダー能力	研修名	ねらい・内容	企画担当	リソース	募集人数	開催日	必要	在室	実施数
キャリア開発 研修Ⅰ	レベルⅠ	組織的 役割遂行 能力	フォローアップとリーダーシップ	・ 基本的な組織論、リーダーシップ論について学び、組織の一員として「リーダーシップ、フォローアップとは」「リーダーシップが必要な場面、実践行動」について考える	教育委員会	フォローアップとリーダーシップ部会	65名	6/27 1/17,31	●		69
			医療安全管理Ⅲ	・ 臨床で発生したインシデント・アクシデントに対して、客観的に情報を整理して共有し、チームの一員として、システム思考で分析と対策立案ができる	教育委員会 医療安全研修部会	医療安全研修部会	100名 複数回開催	7/26 AM/PM 8/2 AM/PM	●		85
			倫理Ⅱ	・ 倫理上の問題に気づき、倫理的推論ができる	教育委員会	倫理研修部会	80人 複数回開催	10/30 11/29	●		78
			組織管理	・ 組織と組織役割を理解する ・ 組織論についてe-ラーニング視聴 自己ワーク	教育委員会	組織管理部会	100人 複数回開催	6/12,19 7/2	●		76
			課題解決プロセス	・ 論理的思考を使い、模擬事例による演習にて学びを深める	教育委員会	課題解決プロセス部会	80人 複数回開催	8/23、27 9/12	●		108
			課題解決実践Ⅰ（旧リーダーシップ実践Ⅰ） 課題解決実践Ⅱ（旧リーダーシップ実践Ⅱ）	・ 実践Ⅰ：自部署のあるべき姿に対し、現状分析～課題を見出し、実践行動計画を立てることができる ・ 実践Ⅱ：課題解決プロセスを用いて成果達成にむけた実践行動をとることができる	教育委員会	課題解決実践ⅠⅡ部会	20人	実践Ⅰ 5/17 実践Ⅱ 2/14	●		14
			自己教育 研究能力	リフレクション	・ リフレクション手法を学び、実践に活用できる	教育委員会	リフレクション部会	50人 複数回開催	9/17 10/24	●	
レベルⅣ	組織的 役割遂行 能力	看護マネジメント	・ 看護の質改善につながるマネジメントについて理解を深める	看護部管理室	副看護部長	30人	1/24	●		16	
研修区分	対象	リーダー能力	研修名	ねらい・内容	企画担当	リソース	募集人数	開催日	必要	在室	実施数
実践 研修	レベルⅢ 以上	看護実践 能力	専門領域 がん看護	・ がん看護に関連する知識を深め、自部署で活かせるケアの実践力を身につける ・ 他職種と連携協働し、患者や家族のQOL向上を目指したがん看護に取り組むことができる	専門領域研修企画	緩和ケアCN がん化学療法看護CN がん看護研究会	12人	12/6,1/7 2/14	●		8
			専門領域 スキンケア	・ 褥瘡など予防的スキンケアに対する技能をスキルアップし、根拠に基づき実践できる	専門領域研修企画	皮膚排泄ケアCN 褥瘡院内認定NS	5人	6月～10月	●		13
			専門領域 創傷管理	・ 創傷管理における根拠やガイドライン、院内ルールを理解し、問題解決のための必要な資源を見極め、患者のケアの実践やスタッフ指導ができる	専門領域研修企画	皮膚排泄ケアCN 褥瘡院内認定NS	5人	6月～10月	●		4
			専門領域 感染管理	・ 感染症のアセスメントおよび感染予防対策実践に必要な知識を修得する ・ 患者の状態に応じ、根拠に基づいた感染防止対策を考えられる	専門領域研修企画	感染看護管理CN 感染管理認定Ns	10人	7/9,8/20 9/10,10/1 11/6,12/3 1/14,2/4	●		6
		組織的 役割遂行 能力	アサーティブコミュニケーション	・ アサーティブコミュニケーションの基本が理解できる 講義・演習	看護部管理室	外部講師	30人	1/28	●		15
	レベルⅣ 以上	看護実践 能力	倫理Ⅲ	・ 事例を通して倫理的推論からとるべき行動を考え、研修での学びを自部署で実践し活用できる	教育委員会	倫理研修部会	25人	9/6	●		19
			クリティカル看護 容態変化対応コースⅢ	・ ABCDEアプローチを使用して急変に結びつく危険な徴候を認識し、根拠を意識した看護ケアを周囲との円滑なコミュニケーションのもとに実施することができる	教育委員会	容態変化部会 集中CN 救急看護CN	50人 複数回開催	9/24 10/31	●		25
			専門領域 院内認定看護師養成 褥瘡管理（スキンケア）	・ 自部署の褥瘡管理（スキンケア）における問題点を分析し、解決に向けて対策を検討し実践できる	専門領域研修企画	皮膚排泄ケアCN	2人	6月～3月	●		1
			専門領域 院内認定看護師養成研修 感染管理	・ 自部署感染管理における問題点を分析し、解決に向けて対策を検討し実践できる	専門領域研修企画	感染管理CN	2人	8月～3月	●		2
		組織的 役割遂行 能力	キャリアデザイン	・ 看護職としてさらにキャリアを発展させる際の多様な働く場や学習の場、働き方などを知り、自身の今後のキャリアについて考えることができる	看護部管理室	副看護部長	30人	6/26	●		13
			コーチングスキル	・ コーチングスキルの基本が理解できる 講義・演習	看護部管理室	外部講師	25人	11/22	●		14
	レベルⅣ 以上	自己教育 研究能力	シミュレーション研修 STEPⅠ	・ 演習を通しシミュレーション教育の理解を深めるⅠ （シミュレーションのシナリオ作成）	教育委員会	シミュレーション部会	50人 1日25人	8/26 9/10	●		19
			シミュレーション研修 STEPⅡ	・ 演習を通しシミュレーション教育の理解を深めるⅡ （デブリーフィングガイド作成と実施）				10/28 11/25			15
	レベルⅣ 以上	自己教育 研究能力	自部署における学習企画と運営	・ 成人学習における継続学習の理念を理解する ・ 研修企画における基本的な考え方、手法を理解する ・ 学習ニーズに沿って模擬研修企画を立て実践する	教育委員会	自部署における学習企画 と運営部下	15人	10/8	●		14
全職員	看護実践 能力	看護実践 能力	小児看護	・ 小児の呼吸・循環の観察ポイント、循環の異常・正常が理解できる ・ 小児の検査に伴う鎮静時のポイントが理解できる	教育委員会 コアセンター	西6階病棟看護師	30人	9/26	●		51
			輸血の基礎知識	・ 輸血の基礎知識を理解し安全に実施できる	臨床輸血看護師 コアセンター	臨床輸血看護師	30人	8/29	●		66
	自己教育 研究能力	自己教育 研究能力	プレゼンテーション研修	・ 看護研修におけるプレゼンテーションの基本について理解する	看護研究支援委員会	看護研究支援委員会	定員なし	9/2～10/30 オンデマンド	●		27
			スタートアップ研修	・ 看護研究の意義と基本が理解できる ・ 本院における看護研究の進め方m倫理的審査方法がわかる	看護研究支援委員会	看護研究支援委員会	定員なし	2/12～3/7 オンデマンド	●		28
			看護研究における文献検索	・ 文献検索方法の基本を理解できる	看護研究支援委員会	看護研究支援委員会	定員なし	3/10	●		19
選択 研修	レベルⅢ 以上	看護実践 能力	臨床推論スタートアップコース	・ 臨床推論について基本となる見方・考え方を学ぶ	看護部管理室	医学部総合診療学講座	20人	9/19,10/17 11/21,12/19/9	●		15
管理 研修	看護実践 能力	組織的 役割遂行 能力	看護管理研修～看護師長ベシック編～	・ 看護管理者としての基本となる姿勢・態度・行動を学ぶ	看護部管理室	外部講師	看護師長	4/22	●		17
			看護管理研修～看護師長編～	・ 看護研究クリティーク	看護部管理室	外部講師	看護師長	1/29	●		33
			看護管理研修～副看護師長編～	・ 看護研究クリティーク	看護部管理室	看護部管理室	副看護師長	11/20 12/18	●		78
補助 研修	看護補助 研修	組織的 役割遂行 能力	看護補助者研修	・ 看護補助者として働く環境を知り、チームの一員としての役割が理解できる ・ 看護補助者業務を遂行するために必要な基本的知識・技術が理解できる ・ 看護補助者として患者、家族、看護職とのかわり方について理解できる	看護部管理室	コアセンター	補助者全員	日中 11/21 1/14～2/21	●		43

他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況：令和 6 年度

	研修名	開催日	受講人数
指導者養成	シミュレーション教育ファシリテーター養成研修		
	STEPⅠ；リフレクション手法とデブリーフィング	R6 年 9 月 20 日	8
	STEPⅡ；シミュレーション教育のシナリオ作成	R6 年 11 月 15 日	8
	STEPⅢ；デブリーフィングガイド作成	R6 年 12 月 20 日	6
基礎看護技術	A コース：採血・点滴管理コース	R6 年 6 月 26 日	5
		R6 年 9 月 25 日	4
	B コース：注射・膀胱留置カテーテル	R6 年 6 月 26 日	4
		R6 年 9 月 25 日	5
	褥瘡ケア；ベーシックコース	R6 年 7 月 31 日	11
		R6 年 8 月 28 日	10
	褥瘡ケア；アドバンスコース	R6 年 10 月 23 日	8
		R6 年 11 月 27 日	9

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 菊地利明	
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院事務部長 佐藤一彦	

			保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病歴管理室, 画像診断支援室, 電算機室	※外来, 入院とも電子媒体(一部紙媒体) ※診療録を病院外に持ち出すことは禁止しており, やむを得ない理由の場合医療情報部の判断のもと処理する。
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各所掌課において管理
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	患者総合サポートセンター	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	各所掌部門において管理
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理部	各所掌部門において管理
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部門	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部門	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部門	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医事課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画2. 現状
閲覧責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 菊地利明
閲覧担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院総務課長 島田 彰
閲覧の求めに応じる場所	医歯学総合病院内会議室
閲覧の手続の概要 様式第5の保管場所・管理方法による。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
- 指針の主な内容： 1 本院の医療安全管理に関する基本的な考え方 2 医療安全管理委員会及び医療安全管理に関わる組織等に関する基本的事項 3 医療安全管理に関する職員研修の基本方針 4 医療安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5 医療上の事故等の発生時の基本方針 6 患者との情報共有に関する基本方針 7 患者からの相談への対応に関する基本方針 8 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供に関する基本方針 9 その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
- 設置の有無（有・無） - 開催状況：年18回 - 活動の主な内容： 1 アクシデントの発生防止対策に関すること 2 アクシデントの発生防止に係る教育及び研修に関すること 3 安全管理の指針及び医療安全管理マニュアルに関すること 4 その他医療安全の推進に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
- 研修の内容（すべて）： 1 特定機能病院の承認要件 2 本院の医療安全管理に関して 3 医薬品の安全管理 4 医療機器の安全管理 5 個人情報保護、情報セキュリティ 6 診療放射線安全利用 7 本院のインフォームド・コンセントについて 8 身体的拘束と最小化にむけた取り組み 9 RRSについて 10 医療にかかる個人情報保護 11 本院の虐待対応 ※ この他に新規採用者・復職者への研修、外部委託業者への研修を別途実施した	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医療機関内における事故報告等の整備（有・無） - その他の改善のための方策の主な内容： 1 院内で発生したインシデント及びアクシデントのインシデントレポートによる報告と情報収集 2 医療安全対策の取り組みの評価、インシデント及びアクシデント事例等を医療安全管理部検討会での事例検討 3 インシデント及びアクシデント事例の医療安全管理委員会での報告、改善策の立案と実施、改善状況の検証・重大アクシデント発生時には速やかに管理者に報告するための体制整備 4 院内で発生した死亡・死産事例（入院・外来）の全例チェックおよび検討 5 医療安全管理委員会、同調査専門委員会における事例分析、再発防止の検討、他	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1 院内感染に関する基本的な考え方 2 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 3 院内感染対策のためのすべての職員に対する研修に関する基本方針 4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6 他施設との連携 7 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針 8 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年16回
・ 活動の主な内容： 1 感染対策指針及び感染対策のマニュアルに関すること。 2 感染の予防対策に関すること。 3 抗菌薬の適正使用に関すること。 4 感染発生時の対応及び改善策に関すること。 5 感染対策に係る情報の収集及び医療従事者への周知に関すること。 6 感染対策に係る教育及び研修に関すること。 7 感染対策の実施状況の評価に関すること。 8 関東・甲信越ブロックのエイズ治療拠点病院の業務に関すること。 9 その他感染対策に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年2回
・ 研修の内容（すべて）： 1 手指衛生強化に向けた取り組み 2 手を介した院内感染の防止について ～手指衛生は命を救う～ 3 抗菌薬の適正使用 4 HIV感染症とAIDS診療の基礎知識 5 抗菌薬適正使用について 6 血液を媒介する病原体の曝露予防について 7 薬剤耐性菌の理解を深めよう ～グラム陰性菌を中心に～ 8 感染管理部の活動と今後の課題について ※ この他に新規採用者・復職者への研修、外部委託業者への研修を別途実施した	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1 薬剤耐性菌、人工呼吸器関連肺炎、中心ライン関連血流感染、外科系診療科（消化器・乳腺・内分泌外科、呼吸器・心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、脳神経外科、小児外科、整形外科）別、一部術式別SSI、尿道留置カテーテル関連尿路感染、インフルエンザ等の流行性ウイルス性疾患、感染性胃腸炎、手指消毒薬の払い出し状況、手指衛生遵守状況、抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施 2 サーベイランス情報を活用した院内ラウンドの実施（情報の共有と改善のためのディスカッション、環境チェック） 3 細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し、迅速な感染防止対策を実施 4 感染対策基本マニュアルの作成および改訂 5 血液培養陽性となった症例の情報収集および治療に関するコメントのメール配信又は、直接的な主治医とのディスカッション 6 TDM検討会（全抗MRSA薬使用症例の情報収集及びTDMコメントを提供） 7 感染症の診断・治療および感染対策に関する相談対応 8 針刺し・切創、粘膜曝露対策、職員のワクチン接種などの職業感染対策 9 施設管理部門、清掃業者等と連携によるファシリティマネジメント 10 県内医療機関との連携に基づいた、定期的な合同カンファレンス、相互チェックおよび、相談対応	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11 第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年1回
- 研修の主な内容： 1 医薬品の安全管理 ① 本院の医薬品安全管理体制 ② 本院の医薬品に関連するインシデントの現状 ③ 医薬品関連で新たに職員に周知したいこと ④ その他	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ① 各部署の手順書の遵守状況（評価A／B／C／D）のチェックを実施した。A評価とならなかった項目は、後日改善を確認した。 ② 医薬品にかかる院内研修、適応外・未承認薬使用の審査、医薬品安全情報の院内周知等を実施した。 ③ 手順書の改訂を行った。
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 1 未承認等の医薬品の使用は従来から使用しているものも含めて、すべて新規医療技術等管理センター（未承認新規医薬品等の担当部門）に申請があり、センターの会議で承認をされたものに限り使用している。医薬品安全管理責任者はセンターの会議に評価委員会委員として陪席をしており、未承認等の医薬品の使用事例を把握している。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1 採用薬剤適正使用情報（Vol. 227～Vol. 299）の配信 当院採用薬について緊急性を要する情報が生じた場合、院内医療情報端末を利用して、メールにて配信を行っている。配信先（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、栄養士等）は必要に応じて選択して配信。 2 薬剤情報ステーションの発刊 薬剤部から2か月に1回発刊している情報誌の「安全の扉」のページで医薬品の安全使用についてトピックスを交えて情報提供している。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11 第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年177回
- 研修の主な内容： 医療機器の安全使用のため、以下の機器について定期的に研修を実施している。 - 人工心肺装置及び補助循環装置 - 人工呼吸器 - 血液浄化装置 - 除細動器（AEDを除く） - 閉鎖式保育器 - 診療用高エネルギー放射線発生装置 - 診療用放射線照射装置 - その他超音波画像診断装置、血糖測定器 など	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
- 医療機器に係る計画の策定 （ ☒有・無 ） - 機器ごとの保守点検の主な内容： 上記②で示した医療機器について、日々の点検をMEセンターや放射線部の技術職員が行い、保守点検計画書に基づき、メーカーによる保守や定期的な点検を行っている。 なお、保守点検の実施状況・内容等は、医療機器安全管理責任者を委員長とする院内委員会にて評価を受けることとしている。 ※保守点検計画書には、医療機器名、製造販売業者名、型式、保守点検の予定時期、間隔、条件等を記載している。 また、機器台帳にて修理履歴を保管している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医療機器に係る情報の収集の整備 （ ☒有・無 ） - 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： 病院長を委員長とした“新規医療技術等管理センター”にて検討を行うことになっている。 また、実際に使用された場合にも、この委員会に報告することになっている。 - その他の改善のための方策の主な内容： 厚生労働省等の行政、PMDA及び日本医療機能評価機構からの通知や、各種学会等のホームページや医療機器メーカーから情報をMEセンターが収集し、該当医療機器に携わる者へ直接通知を行う。 また、院内webサーバーにも必要な情報を掲載し、院内に周知している。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
・ 責任者の資格（医師・歯科医師） ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 1 医療安全管理部長として、院内の医療安全に関する管理部門を統括する。 2 医療の安全管理体制の確保及び推進や、重大な事例が発生した場合の適切な対応策等に関する事項を審議する医療安全管理委員会の構成員であり運営を統括する。 3 医薬品の安全管理のための体制確保として医薬品安全管理責任者の実施業務、医療機器に係る安全管理のための体制確保として医療機器安全管理責任者の実施業務、さらに、診療放射線の安全利用のための体制確保として医療放射線安全管理責任者の実施業務に関し、それぞれ各専門部会の構成員となり、各責任者の業務を統括する。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ 有（1名）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 1 薬剤部において、院内の医薬品使用状況の定期的（月1回程度）な確認及びその結果を踏まえた添付文書情報（禁忌等）、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時等の医薬品安全管理に係る情報の報告 2 薬剤部からの報告をもとに、当該情報に係る医薬品の使用実績のある診療科等のみならず院内全体に医薬品の適正使用のための注意喚起情報の周知 3 全部署のリスクマネージャーが出席するリスクマネージャー全体会議においても改めて医薬品の適正使用のための注意喚起情報を周知し、リスクマネージャーは自部署職員への周知が完了した旨を報告書として提出してもらうこととしており、全部署からの周知完了報告書の提出をもって確認 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 1 薬剤部において、医師等の処方した薬剤の使用が、未承認医薬品、若しくは適応外又は禁忌等の使用（以下、「未承認等の医薬品の使用」という。）に該当するか否かの把握 2 未承認等の医薬品の使用について審査する委員会承認されていない場合で処方の妥当性が確認できない場合、主治医へ疑義照会の上、薬学的知見に基づき、処方の必要性や論文、ガイドライン等の根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性等の確認と事後に把握した適応外使用医薬品に係る処方の妥当性等の確認と処方した医師等へ処方の変更等の提案 3 薬剤部からの報告をもとに、未承認等の医薬品使用の把握の状況の定期的な確認と必要に応じた当該把握方法の見直し、及び必要に応じて医師等に対する指導等と院内全体に未承認等の医薬品の使用に関して必要な情報の共有 ・ 担当者の指名の有無（☒有・無） ・ 担当者の所属・職種： （所属：薬剤部、職種 薬剤師）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ 有・無
・ 医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（☒有・無） ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内	

容：

- 1 患者が内容を十分理解できるような文書を用いた医療者からの説明が行われているか、また、患者の明確な文書による意思表示は行われているかについて、インフォームド・コンセントの定期的な監査を実施している。監査結果に基づき、院内会議及び研修会を通じて職員に周知及び改善指導をしている。
- 2 インフォームド・コンセントに関する基本方針、インフォームド・コンセントの実際（説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法などの留意事項）、インフォームド・コンセントの取得フローチャート、インフォームド・コンセントを必要とする医療行為、同席を要する医療行為等の規定を定めている。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

☒有・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療録監査員会内規に基づき、年2回診療録監査を実施し、院内会議及び研修会を通じて職員に周知及び改善指導をしている。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

☒有・無

・所属職員：専従（4）名、専任（1）名、兼任（25）名

うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（11）名

うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名

うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（3）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- 1 医療安全管理委員会に係る運営及び事務
- 2 アクシデント又は病院長が必要と認める事象（以下「事象等」という。）が発生した場合は、事象等に係る次に掲げる事項
 - イ診療録その他診療に関する記録の確認
 - ロ患者又はその家族への説明
 - ハ発生原因の究明
 - ニその他対応状況の確認
 - ホ職員に対する必要な指導
- 3 医療の安全管理に係る教育、研修及び連絡調整
- 4 医療の安全確保に資する診療の状況把握及び対策の推進
- 5 職員の医療の安全に関する意識向上の状況確認
- 6 医事紛争及び医療訴訟の対応
- 7 各部署における医療安全対策の実施状況の評価に基づく医療安全確保のための業務改善計画書の作成並びに作成した業務改善計画書に基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果の記録
- 8 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、医療安全対策に係る患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取扱い並びにその他の医療安全管理者の活動実績の記録
- 9 医療安全管理部検討会に係る運営及び事務
- 10 その他アクシデントの発生防止及び医療の安全性の向上に関し必要な事項

《モニタリング項目》

1 周術期肺血栓塞栓症

- ① 手術症例 DVT/PTE 予防アセスメント施行率
- ② 手術例における肺血栓塞栓症予防管理料算定率
- ③ 1万手術あたり周術期肺血栓塞栓症発生率

2 入院患者の転倒転落

- ① 入院患者 1、000 人日あたり転倒・転落発生率
- ② 入院患者 1、000 人日あたり転倒・転落発生後外傷（レベル 3a 以上）発生率

3 中心静脈カテーテル挿入（とくに挿入時の医原性気胸）

- ① 中心静脈カテーテル穿刺挿入報告書提出率
- ② 内頸静脈穿刺における気胸発生率
- ③ 鎖骨下静脈穿刺における気胸発生率

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（19 件）、及び許可件数（17 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
 - 1 高難度新規医療技術の申請に係る具体的な申請基準に関すること。
 - 2 高難度新規医療技術の実施の適否の決定に関すること。
 - 3 新規医療技術等の実施後の定期的な手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検に関すること。
 - 4 新規医療技術等の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において、その新規医療技術等の手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
 - 5 その他新規医療技術等の実施の安全性の確保に必要な事項
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（37 件）、及び許可件数（32 件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
 - 1 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の申請に係る具体的な申請基準に関す

ること。

- 2 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の適否の決定に関すること。
- 3 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後の定期的な手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
- 4 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において、その未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
- 5 その他未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の安全性の確保に必要な事項。

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (☒ ・ 無)

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (☒ ・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 341 件

・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 187 件

・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

- 1 院内における入院・外来全死亡（死産含む）症例について、医療安全管理部でリストアップを行い、事例件数の報告及び事例検証を実施
- 2 院内の入院患者における全死亡・死産症例について、主治医・担当医に報告することを義務化し、報告実施状況の確認及びその結果について報告
- 3 重大な事例が生じた場合、速やかに原因究明のための調査及び分析、分析結果を基に改善のための方策の立案及び実施並びに職員への周知、方策の実施状況の調査及び必要に応じ方策の見直しの実施

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・ 他の特定機能病院等への立入り (☒ (病院名：福島県立医科大学附属病院) ・ 無)

・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ (☒ (病院名：東北大学病院) ・ 無)

・ 技術的助言の実施状況

①福島県立医科大学附属病院に対して以下の助言を行った。

(医療安全・有害事象の検討)

1. 医療放射線安全管理は、医療安全管理体制に組み込まれておらず、監査委員会の監査対象にもなっていないようである。確かに医療放射線安全管理は医療法施行規則では医療安全管理責任者の統括対象にはなっていないが、血管撮影や血管内治療に伴う被ばくの状況の把握は医療安全管理上、重要であると考え。医療安全管理体制に組み込むことまでは必要ないかもしれないが、管理者や医療安全管理責任者は、医療放射線安全管理責任者と情報共有をおこなってはいかがと提案した。
2. インシデントレポートは有害事象やそのニアミスを報告するもので、ややもするとネガティブな印象を職員に与える。職員の医療安全管理に関するモチベーションを鼓舞するためにも、Good Job Report のような患者安全に寄与する報告を表彰したり、医療安全管理に寄与する良い取り組みを表彰してはいかがと提案した。
3. 診療行為のモニタリングとして、インフォームド・コンセントに関する監査を診療情報管理士と連携して精力的に取り組まれている。すばらしい取り組みとして感銘を受けた一方で、多くの医療機関でモニタリングされている周術期肺血栓塞栓症発生率などもモニタリング項目あ

るいは Quality Indicator として検討されてはいかがかと提案した。

(医薬品・未承認新規医薬品等)

1. 重篤な副作用情報などを PMDA に報告する体制は整っているが、報告件数は少ない、とのことだった。厚生労働省からの令和 3 年 12 月 6 日薬生安発 1206 第 1 号通知で報告対象の定義が見直されているため、参考にさせていただければ幸いである。

(高難度新規医療技術)

1. 高難度の調査シートⅡ-7-③における患者への説明に関し、申請書類上では「既存医療と比較した当該医療の優位性」と「費用負担」が記載されていたが、患者説明文書のひな型においては記載を確認することができなかった。口頭では説明しているはずとのことであったが、患者さんにとって重要な項目と考えられ、記載することが望ましいと考えられた。

(外部監査)

1. 医療放射線安全管理は、医療安全管理体制に組み込まれておらず、監査委員会の監査対象にもなっていないようである。確かに医療法施行規則では医療放射線安全管理は医療安全管理責任者の統括対象にはなっていないが、血管撮影や血管内治療に伴う被ばくの状況の把握は医療安全管理上、重要であるとする。監査委員会の監査対象に加えるかどうかは別にして、管理者や医療安全管理責任者は、医療放射線安全管理責任者と情報共有をおこなってはいかがかと提案した。

②東北大学病院からの以下の助言に対し、対応を行った。

(医療安全・有害事象の検討)

1. 日本医療機能評価機構への義務報告が 2 週間以内にされていないものがあるが、2 週間以内に報告されたものは後日の訂正が可能であるため、できる限り 2 週間以内に報告されるとなお良い。
→医療事故情報収集等事業に報告すると決定した事例に関しては、可能な限り迅速に報告するよう努め、実際、迅速に報告するようになった。

(医薬品・未承認新規医薬品等)

1. 重篤な副作用を PMDA に報告する体制が整っているが、件数が少ないことから積極的に報告することを期待する。なお、令和 3 年 12 月 6 日薬生安発 1206 第 1 号で報告対象の定義が見直されているため、参考にしていきたい。
→医薬品の重篤な副作用を発見する機会が多いのは、医師以外には薬剤師であり、薬剤師からも発見時に積極的に副作用報告を行うよう努めた。

(高難度新規医療技術)

1. 評価委員会の委員に看護師が入っていないが、実際には毎回必ず陪席しているとのことなので、看護師も正式に委員とされると良い。
→看護職(副看護部長)を高難度新規医療技術評価委員会及び未承認新規医薬品等評価委員会の正式な委員とした(令和 6 年 11 月 1 日～)
2. 現在定期報告に関しては診療科からの報告によっているが、「担当部門による自発的なモニタリング」に関しても、当日の議論等も参考にされて行われると良いと思われる。
→高難度新規医療技術及び適応外使用に関するモニタリング項目を策定し、da Vinci 手術のモニタリングを試行している。

(外部監査)

1. 現在の外部監査委員の選定については、規定に基づき適切に行われているが、今後の実地監査を検討する際には、看護職を選定することで現場視点からの意見を得られる可能性があるため、検討していきたい。
→現在のところ、実地監査の予定はないが、実地監査の計画が検討される際は、看護職や医療専門職の外部監査委員選定を検討することとした。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者からの医療安全管理に係る相談等に対し、対応できるよう窓口を常設している。また、院内掲示により設置場所、担当者、責任者及び対応時間等を患者等に明示している。

⑫ 職員研修の実施状況

・ 研修の実施状況

令和 6 年度の医療安全管理研修会において、インシデント、アクシデント報告の流れ等の医療に係る安全管理のための基本的な事項、及び医療安全管理に係る具体的な事例の改善策、高度な医療を提供するための多職種連携に必要な知識及び技能、特定機能病院として取り組むべき医療安全管理に関する事項等について、管理者、医療安全管理責任者等による医療安全管理研修会及び医薬品安全管理研修会並びに医療機器安全管理研修会を実施し、e-ラーニングを用いて学習効果を測定し、院内会議を通じて職員にフィードバックした。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・ 研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は、日本医療機能評価機構が開催した令和 6 年度特定機能病院管理者研修を受講した。

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価について、書類審査及び令和 6 年 11 月 13 日～15 日に訪問審査を受審し、令和 7 年 8 月 22 日付けで認定証の交付を受けた。

認定期間 令和 6 年 12 月 20 日～令和 8 年 3 月 31 日

認定発行日 令和 7 年 8 月 22 日

認定病院種別及び番号

主たる機能：一般病院 3 認定第 GB146-6 号

副機能：精神科病院認定第 GB146 号

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

なし

・ 評価を踏まえ講じた措置

なし

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
・ 基準の主な内容 1. 医師法に基づく医師免許証を交付された医師であること 2. 学識に優れ、教育研究、診療及び病院経営に識見を有し、かつ、管理運営能力を有する者で、以下の基準を全て満たす者 ① 医学博士又は博士（医学）の学位を有し、教授相当の十分な業績を有する者 ② 総合病院において病院長、副病院長、診療科長、中央診療部門長もしくは同等職の経験を有する者（当該病院内外での組織管理経験が含まれること。） ③ 様々な医療環境の変化に対応しながら、強いリーダーシップを持って病院運営及び経営にあたる意欲がある者 3. 医療安全管理業務を経験し、医療安全の確保に必要な資質・能力を有する者で、以下の基準を全て満たす者 ① 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務経験を有する者、又は医療安全管理委員会もしくは同委員会に準ずる委員会の構成員であった者 ② 医療安全管理業務経験を踏まえ、医療安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有する者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ ☒ ・ 無 ） ・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				☒ ・ 無
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ ☒ ・ 無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ ☒ ・ 無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ ☒ ・ 無 ） ・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	特別の関係 ☒ ・ 無
澤村 明	新潟大学 理事 ・ 副学長	○	学長が指名する理事 （選考委員会規程第3条第1号）	☒ ・ 無
猪又 孝元	新潟大学 医歯学総合病院 副病院長		学長が指名する医科系運営会議及び歯科系運営会議の構成員 （選考委員会規程第3条第2号）	☒ ・ 無

			号)	
多部田 康 一	新潟大学 医歯 学総合病院 副 病院長		学長が指名する医科系運営会議及 び歯科系運営会議の構成員 (選考委員会規程第 3 条第 2 号)	☒ 有・ ☐ 無
堀井 新	新潟大学 医歯 学系 教授		学長が指名する医科系運営会議及 び歯科系運営会議の構成員 (選考委員会規程第 3 条第 2 号)	☒ 有・ ☐ 無
佐藤 昇	新潟大学 医学 部長		学長が指名する医歯学総合病院運 営協議会委員のうち新潟大学に所 属する者 (選考委員会規程第 3 条第 3 号)	☒ 有・ ☐ 無
井上 誠	新潟大学 歯学 部長		学長が指名する医歯学総合病院運 営協議会委員のうち新潟大学に所 属する者 (選考委員会規程第 3 条第 3 号)	☒ 有・ ☐ 無
小野寺 理	新潟大学 脳研 究所長		学長が指名する医歯学総合病院運 営協議会委員のうち新潟大学に所 属する者 (選考委員会規程第 3 条第 3 号)	☒ 有・ ☐ 無
堂前 洋一 郎	一般財団法人新 潟県医師会 会 長		学外の有識者：県医師会長と して、医療・保健・福祉全般 に豊富な知見を有する(選考 委員会規程第 3 条第 4 号)	有・ ☒ 無
中村 洋心	新潟県福祉保健 部 部長		学外の有識者：県の医療に係 る担当者として、医療・保健 ・福祉全般に豊富な知見を有 する(選考委員会規程第 3 条第 4 号)	有・ ☒ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		☒ ・無	
・合議体の主要な審議内容 ・医歯学総合病院（以下「病院」）の運営方針に関する事項 ・病院の中期目標・中期計画に関する事項 ・病院の予算及び決算に関する事項 ・病院の教員の選考に関する事項 ・病院の組織に関する重要事項 ・病院の教育・研究及び診療に関する重要事項 ・その他病院の管理・運営及び経営に関する重要事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 ・医科系及び歯科系運営会議及び連絡会議において周知。 ・院内会議システム（Web）にて会議資料を随時閲覧可能 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒・無 ） ・公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表 ・外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・☒ ）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
菊地 利明	○	医師	病院長
若井 俊文		医師	副病院長
多部田 康一		歯科医師	副病院長
猪又 孝元		医師	副病院長
大内 章嗣		歯科医師	副病院長
阿部 理一郎		医師	副病院長
鳥谷部 真一		医師	副病院長
川島 寛之		医師	副病院長
團原 一恵		看護師	副病院長・看護部長
佐藤 一彦		副病院長（事務部長）	副病院長・事務部長
大石 誠		医師	病院長補佐
藤井 規孝		歯科医師	病院長補佐
上村 顕也		医師	病院長補佐
外山 聡		薬剤師	薬剤部長
金澤 勉		放射線技師	医療技術部長
小野寺 理		医師	病院長特別補佐

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表
- ・ 規程の主な内容
新潟大学医歯学総合病院規程第 3 条において、「病院長は、病院の管理、運営をつかさどり所属職員を統括し、第12条の規定により設置する新潟大学医歯学総合病院運営委員会が審議した病院の管理及び運営に関する重要事項に関し、その決定に関する権限と責任を有するものとする。」と規定。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
新潟大学医歯学総合病院規程第 4 条及び 5 条において、副病院長を置くこと及び病院長特別補佐、病院長補佐を置くことができることを規定。
副病院長の役割は、病院長の職務を助け、病院長に事故があるときは、病院長があらかじめ指名する副病院長が、その職務を代理するほか、各副病院長に「総括」「歯科総括」「企画戦略（研究・医療連携）」「企画戦略（医科歯科連携）」「診療・病院機能」「医療安全」「感染管理・教育」「看護（地域連携）」「総務・財務」の各担当を命じている。
病院長特別補佐の役割は、病院の管理運営に関し、病院長に助言等を行うものとする。また病院長補佐の役割は、病院長が諮問又は指示した事項について、調査、企画・立案するとともに、その実施に関して病院長の職務を補佐するものとするほか、各病院長補佐には「病院機能強化（医科）」「病院機能強化（歯科）」「医療連携全般」を命じている。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
全国会議、関係機関が主催する担当者研修会等に参加。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況				☒ ・無	
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容：医療安全管理責任者の業務、医療安全管理部門の業務、医療安全管理委員会の業務、医薬品安全管理責任者の業務、医療機器安全管理責任者の業務、医療放射線安全管理責任者の業務、及びその医療安全管理全般に関する業務についての監査を実施。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 公表の方法：新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
月岡 恵	元 新潟保健所 長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ ☒ 無	
佐藤 信昭	元 新潟県立がんセンター新潟 病院長		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ ☒ 無	
三部 正歳	りゅーと法律税 務会計事務所 所長（弁護士、 税理士）		法律に関する識見を有する者	有・ ☒ 無	
堀江 直純	新潟大学理事		医療を受ける者 その他医療従事 者以外の者	☒ ・無	
岡 俊幸	新潟大学監事		医療を受ける者 その他医療従事 者以外の者	有・ ☒ 無	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容
本学監査室において、本学の業務及び会計処理の状況について、適法性及び合理性の観点から調査及び検証を行い、適正かつ効率的な運営を確保するための内部監査を実施。
- ・ 専門部署の設置の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 病院運営協議会において、運営方針に関する事項、中期目標・中期計画に関する事項、予算・決算に関する事項、教員の選考に関する事項、組織に関する重要事項、教育・研究及び診療に関する重要事項、その他管理・運営及び経営に関する重要事項について、病院長に報告させ、業務を監督する。 ・ 会議体の実施状況（ 年 1 回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒有・無 ）（ 年 1 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
澤村 明	新潟大学 理事・副学長	○	☒ 有・無
佐藤 昇	新潟大学 医学部長		☒ 有・無
井上 誠	新潟大学 歯学部長		☒ 有・無
小野寺 理	新潟大学 脳研究所長		☒ 有・無
堂前 洋一郎	一般財団法人新潟県医師会 会長		有・ ☒ 無
中村 洋心	新潟県福祉保健部 部長		有・ ☒ 無
荻野 構一	公益社団法人新潟県薬剤師会 会長		有・ ☒ 無
鈴木 幸雄	新潟県三条地域振興局健康福祉環境部 医監		有・ ☒ 無
河原 和夫	医療法人財団 利定会 大久野病院・介護医療院 理事・院長		有・ ☒ 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有・無 ） ・ 通報件数（年 件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有・無 ） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有・無 ） ・ 周知の方法

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ・ 本院ホームページ及び各診療部門のホームページにより診療内容や医療サービスについて情報発信している。 ・ 診療案内冊子を毎年作成（更新）し、県内全医療機関へ送付している。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	☒ 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ・ 腫瘍センター及び腫瘍内科を中心に、複数の診療科が連携して平成25年1月から「がんサージカルボード」を開催している。平成26年度からは必要に応じて病理医が病理組織を供覧している。 ・ 医療連携口腔管理治療部が介入し、入院患者の周術期口腔機能管理の医科・歯科連携強化を進めている。	